

ホシザキグリーン財団研究報告特別号

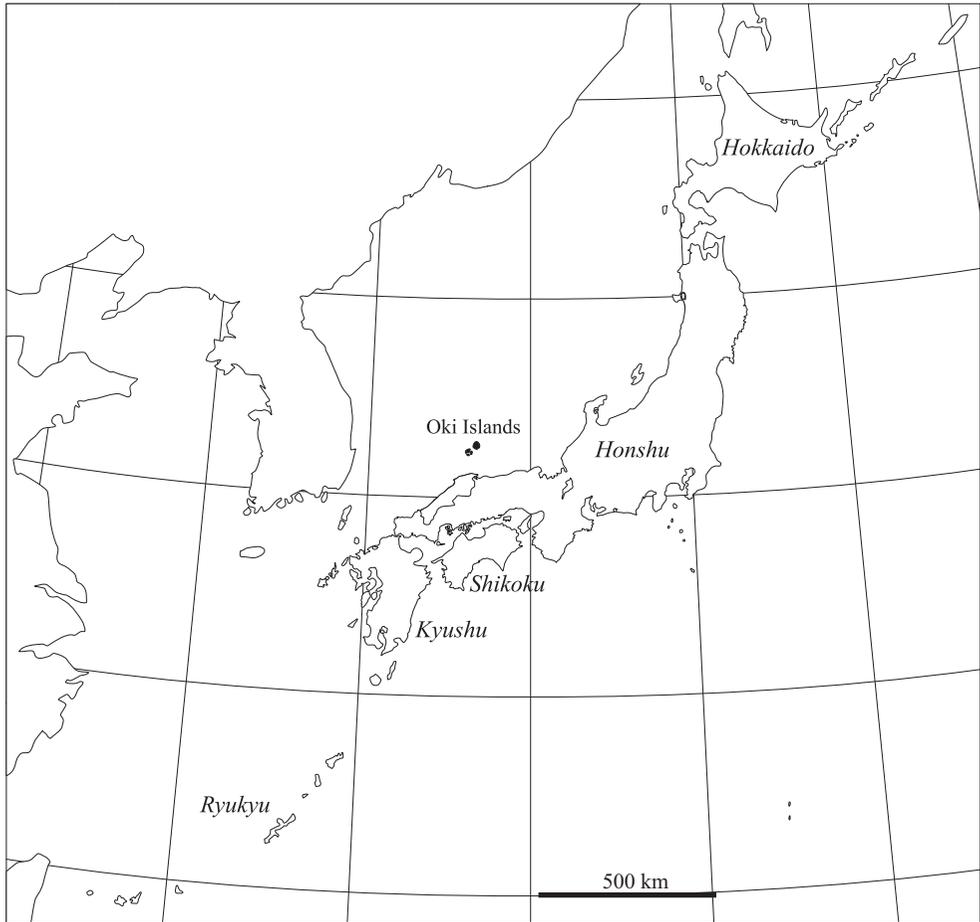
第 17 号

隠岐諸島産水生昆虫目録 (1930-2015)

林 成多・門脇 久志

2016 年 3 月

公益財団法人 ホシザキグリーン財団
ホシザキ野生生物研究所



編集委員会 Editorial Board

委員長 Editor : 岩城良行 Yoshiyuki IWAKI

委員 Editorial Staff : 森 茂晃 Shigeaki MORI, 林 成多 Masakazu HAYASHI,
三浦憲人 Norihito MIURA

隠岐諸島産水生昆虫目録 (1930-2015)*

林 成多¹⁾・門脇 久志²⁾

¹⁾ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町 1664-2 ホシザキ野生生物研究所

²⁾〒699-1244 島根県雲南市大東町山田 176

List of Aquatic Insects in Oki Islands, Shimane Prefecture, Japan

Masakazu HAYASHI¹⁾ and Hisashi KADOWAKI²⁾

¹⁾Hoshizaki Green Foundation, Sono 1664-2, Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan

²⁾Yamada 176, Daito, Unnan, Shimane Pref., 699-1244 Japan

Abstract A list of aquatic insects in Oki Islands, Shimane Prefecture was given based on records from references. The list includes 317 species, 78 families in 9 orders. One endemic caddisfly, *Plectrocnemia okiensis* Kobayashi, 1987 (Polycentropodidae) is known from Dogo Island (type locality: Choshi River, Saigo).

Key words : biogeography, Dogo, Dozen, Insecta, Sea of Japan

キーワード : 生物地理, 島後, 島前, 昆虫綱, 日本海

はじめに

隠岐諸島は山陰沖の日本海にある群島である。島根県東部の島根半島から北へ約 50-60km に位置し、島後と島前の西ノ島・中ノ島・知夫里島の主要 4 島のほか、松島や大森島などの付属島から構成される (図 1)。第四紀を通じて主として凡世界的な海水準変動により、高海水準期には離島となるが、低海水準期には本土と陸続きの半島になる。現在の隠岐海峡が形成された時代、つまり隠岐諸島が離島になった時代は 16,000 年前と推定されている (大嶋, 1990)。第四紀における氷河性海水準変動は繰り返していることから、隠岐諸島も離島と半島の時代を繰り返したことが予想されるが、地史の詳細については不明な点が多い。

隠岐諸島は本土との隔離期間があまり長くないため、種レベルでの固有種は少なく、代表的な固

有種としてはオキサンショウウオがいるほか、オキナゴミムシやオキチャイロコガネなどの甲虫類が知られている。しかしながら隠岐諸島の山塊としての独立性は、陸続きの時代にも保たれていたことが予想され、固有タクサ形成の要因として考えられる。また、島という限られた面積の陸地では、圧倒的に広大な本州に比べて生息可能な昆虫の種数は限られる。このことは、山陰本土側での普通種が隠岐諸島で欠落することや、生態的な変異となって現れている。隠岐諸島での昆虫類の生態学的な調査は今後、大いに期待される分野である。

隠岐諸島に限らず、昆虫相を調査する場合、最初に参照するのは過去の記録である。残念ながら隠岐諸島産の昆虫類を網羅した目録は、島根県 (1975) 以降には公表されおらず、隠岐の昆虫相研究を発展させる妨げにもなっている。筆者らは、多少なりともこの問題に貢献するため、隠岐諸島

*ホシザキグリーン財団研究業績 第 220 号

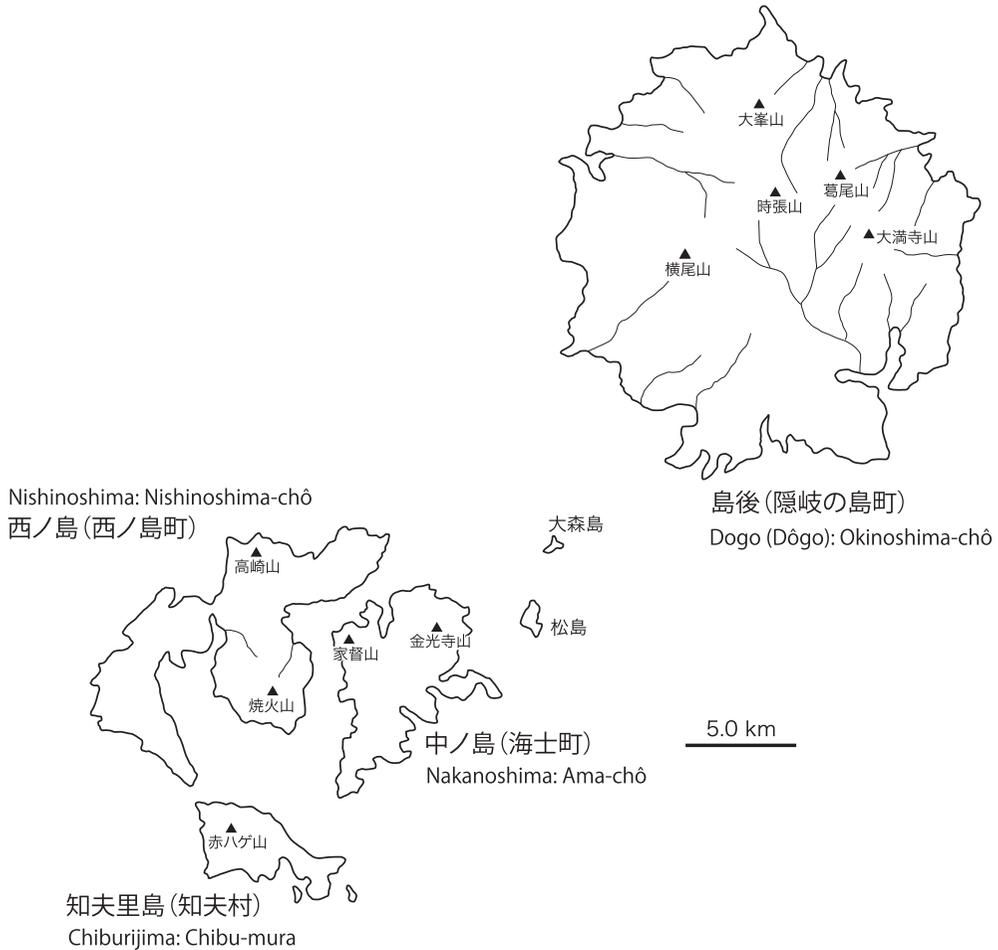


図1 隠岐諸島の概要

での昆虫相調査を継続している。甲虫類については2011年まで、直翅系昆虫類については2012年までに記録された種の目録を作成して公表した(林・門脇, 2012, 2013)。今回は、水生昆虫類について目録を作成することにした。水生昆虫は複数の目にまたがり、目録として利用するには使いづらい面もある。しかし、水生昆虫類は生息環境が改変されやすく、絶滅危惧種を多く含むことから、優先順位は高いと判断した。隠岐諸島では本土側で急激に減少しているミズスマシやツブゲンゴロウなどの水生昆虫が現在でも生息しており、保全生物学的にも注目される地域である。本目録の発行が契機となって、隠岐諸島の水生昆虫相の

解明が進展することを期待したい。

研究史の概要

隠岐諸島の昆虫研究は、田中房太郎による昆虫採集で始まった。田中が昆虫目録を作成していたことが、岡部(1950)により述べられているが、資料は現存していない。

水生昆虫を含む隠岐諸島の昆虫目録としては、岡部(1931)が最初で、次いで木村(1932, 1936, 1939)がある。第二次世界大戦後には、岡部(1950)が昆虫目録を発表している。また、長花・外山(1954)、長花ほか(1955)によってカ科が、吉田ほか(1955)によってブユ科の報告が行われ

表1 隠岐諸島の水生昆虫の種数. 詳細は各目の項を参照.

目名	科	種	成虫	幼虫	備考
カゲロウ目	7	25	陸生	水生	幼虫に未同定の種がいる
トンボ目	11	56	陸生	水生	解明度がもっとも高い
カワゲラ目	6	22	陸生	水生	成虫や幼虫に未同定の種がいる
カメムシ目	10	34	水生	水生	未記録の小型種が見つかる可能性がある
ヘビトンボ目	2	3	陸生	水生	ほぼ解明された可能性が高い
アミメカゲロウ目	0	0	陸生	水生	水生種は未発見. ミズカゲロウ科やヒロバカゲロウ科の水生種は要調査
トビケラ目	20	58	陸生	水生	成虫や幼虫に未同定の種がいる
チョウ目	1	3	陸生	水生	水生種に注目した調査は行われていない
コウチュウ目	15	83	水生/陸生	水生	解明度は高いが, 未記録の種が見つかる可能性がある
ハエ目	6	33	陸生	水生	カ科とブエ科は研究が行われている. 幼生期の生態が不明なため, 水生種かどうかの判断が難しい種がいる

ている.

島根県 (1960) は, 「隠岐島産動物目録」を「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」の付録して公表した. この目録は木村 (1939) を基本にしたものである.

島根県 (1975) は, 「隠岐島に生息する昆虫」を「島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 隠岐島」の別表として公表した. この目録は文献記録を整理したものである. すでに述べたように, 隠岐諸島産の全昆虫の目録としては現時点で最後の目録である.

隠岐諸島の河川に生息する水生昆虫 (いわゆる川虫) の記録としては, 西村 (1966) による島後と西ノ島の溪流での調査や, 谷ほか (1982) による島後の主に河川 (池も含まれる) での調査がある. 幼虫による同定には種名未確定のものもあるが, 河川に生息する水生昆虫全体を対象とした報告は他になく, 現在でも重要な文献である.

分類群別での報告では, トンボ目やコウチュウ目に関するものが多い. また, カワゲラ目やトビケラ目, カメムシ目については, それぞれ詳しい報告があるが, 個々の文献については, 各目の項目で引用した. 一方, ハエ目については, 一部の衛生害虫とされるグループを除くと, ほとんど記録がないのが現状である.

本目録で扱う水生昆虫

水生昆虫を厳密に定義することは非常に難しい. 一般的には, 幼虫または成虫, あるいは両方のステージの期間において, 止水や流水などの水中や

水面で生活し, 水域が無いと繁殖や生存が困難な昆虫と言える. しかしながら, 水辺に生息する昆虫の場合, 実際には線引きが難しい場合もある. また, カメムシ目の場合では, 水生カメムシ類と陸生カメムシ類は分類学的に区別されていて, 必ずしも生態で区別されているわけではない. 本書では, 目による扱いの違いを統一的に区分することは困難であると考え, 最新の日本産水生昆虫の分類図説である「日本産水生昆虫 科・属・種への検索」(川合・谷田, 2005) に掲載されている種や科を基準に掲載することとした.

本目録を作成するにあたり, すでに島根県全体あるいは隠岐諸島産の目録が公表されているカワゲラ目, トンボ目, カメムシ目, トビケラ目, コウチュウ目については, 過去の記録の扱いをそのまま踏襲し, その後の記録を加えることにした. 従って, 分類学的な扱いが変更されていない限り, 例えば異なる和名や学名で記録された種の対比については, 変更をしていない.

目録は, 科を単位としてまとめ, それぞれ引用文献を示した. そのため, 多くの文献が重複しているが, 各種の記録を調べる上で利用しやすさを優先した. 掲載順は原則として, 川合・谷田 (2005) の配列に従った.

結 果

目録を作成した結果, 9目78科317種の水生昆虫が隠岐諸島から記録されていることが判明した (表1). 目によって解明度は大きく異なり, 特にトンボ目やカメムシ目, コウチュウ目, ヘビトンボ

目では高い。カワゲラ目やトビケラ目も比較的高いと考えられるが、未同定や未分類の種も含まれていることから、さらに多くの種が追加される可能性が高い。一方、ハエ目については、ほとんど未解明の状態に近く、今後の調査によって多数の種が確認されることが予想される。なお、ハチ目については、文献情報がほとんど無い状況である。もともと水生の種数は多くないグループであるが、水生昆虫の卵や幼虫に寄生する種などが確認される可能性はあると考えている。また、アミメカゲロウ目については水生種の記録は無いが、調査は不十分である。

隠岐諸島をタイプロカリティーとして記載された水生昆虫は、トビケラ目イワトビケラ科のオキミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia okiensis* Kobayashi, 1987 とコウチュウ目ヒメドロムシ科のサンインヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria sotai* Hayashi et Yoshitomi, 2015 の2種である。後者は本土側にも生息していることから、現時点で隠岐諸島固有とみられる水生昆虫はオキミヤマイワトビケラ1種だけである。水生昆虫の多くは成虫期に飛翔し、夜間灯火に飛来するなど分散能力が高い種が多い。このことが隠岐諸島産の水生昆虫類の固有分類群が少ない理由として考えられる。

謝 辞

隠岐諸島での野外調査にあたって、深谷 治氏、八幡浩二氏、前川文吾氏、井上定彦氏、近見芳恵氏にはご協力をいただいた。また、大浜祥治氏にはトンボ目の記録についてご教示をいただいた。清水高男氏、野崎隆夫氏、河瀬直幹氏、司村宜祥氏には、水生昆虫類の同定や分類の情報をご教示いただいた。これらの方々に厚くお礼申し上げます。

文 献

林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫類目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5): 1-120.

林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島産直翅系昆虫類 (昆虫綱多新翅亜節) の目録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 75-90.

Hayashi, M. and H. Yoshitomi (2015) Endophallic structure of the genus *Zaitzeviaria* Nomura (Coleoptera, Elmidae, Elminae), with review of Japanese species. *Elytra, Tokyo, New Series*, **5**(1): 67-96.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No.1」. 8p. (自刊)

川合禎次・谷田一三 編 (2005) 「日本産水生昆虫科・属・種への検索」. 東海大学出版会, 秦野.

木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観 島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.

木村康信 (1936) 島前に於ける動植物分布. 「概観 島前地誌」: 19-34. 隠岐地理学会, 海士.

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28(1): 26-29.

岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.

岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 80p. 島根県隠岐高等学校研究部.

大嶋和雄 (1990) 第四紀後期の海峡形成史. 第四紀研究, **29**(3): 193-208.

島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」. 232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 「島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集」, 別表2: 1-35.

谷 幸三・富永 修・土井伸治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

隠岐諸島産水生昆虫目録 (1930-2015)

カゲロウ目 Ephemeroptera

隠岐諸島産のカゲロウ目は、分類の専門家によるファウナ解明のための調査は行われていない。島後では、西村(1966)や谷ほか(1982)の幼虫記録に基づく報告が主要なものである。これに林ほか(2013, 2015)が幼虫と成虫に基づいて追加で記録をしている。隠岐諸島全体で7科25種が記録されている。記録のほとんどは島後である。島前については、溪流環境のある西ノ島を中心に未記録種が存在することが予想される。また、島後についてもコカゲロウ科などの小型種が未記録と考えられる。

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記。採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae

隠岐諸島からは2種が記録されている。

1. ウェストントビイロカゲロウ *Paraleptophlebia westoni* Imanishi
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (林ほか, 2013)
2. ヒメトビイロカゲロウ *Choroterpes altioculus* Kluge
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (西村, 1966)
島後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (西村, 1966)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記。採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

カワカゲロウ科 Potamanthidae

隠岐諸島からは島後産のキイロカワカゲロウ1種が記録されている。

3. キイロカワカゲロウ *Potamanthus formosus* Eaton
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (西村, 1966)
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記。採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

モンカゲロウ科 Ephemeridae

隠岐諸島からは2種が記録されている。

4. モンカゲロウ *Ephemera strigata* Eaton
隠岐 (島根県, 1960)
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (林ほか, 2011)
西ノ島 (木村, 1939)
5. フタスジモンカゲロウ *Ephemera japonica* McLachlan
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (西村, 1966)
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)
知夫里島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査。ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキ

- グリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」.
 23 p.(自刊)
 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28
 (1): 26-29.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶
 山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自
 然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆
 虫. すかしば, (16): 29-41.

マダラカゲロウ科 Ephemereillidae

隠岐諸島からは6種が記録されている。

6. オオクマダラカゲロウ *Cincticostella elongatula*
 (McLachlan)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (Ishiwata, 2003)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 7. チェルノバマダラカゲロウ *Cincticostella orientalis*
 (Tshernova)
 島後 (谷ほか, 1982) *
 *トウヨウマダラカゲロウ *E. (C). orientalis* もチェ
 ルノバマダラカゲロウと同時に記録; この2種は
 同種として扱われ, 学名は *Cincticostella orientalis*
 (Tshernova) が有効名とされた (Ishiwata, 2003).
 8. ヨシノマダラカゲロウ *Drunella ishiyamana* Matsumura
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (林ほか, 2013)
 9. ミットゲマダラカゲロウ *Drunella trispina* (Ueno)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (西村, 1966)
 島後 (谷ほか, 1982)
 10. キマダラカゲロウ *Ephemereilla notate* Eaton
 島後 (谷ほか, 1982)
 11. アカマダラカゲロウ *Uracanthella punctisetae*
 (Matsumura)
 島後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012
 年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別
 号, (8): 1-73.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキ
 グリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 Ishiwata, S. (2003) A revision of the genus *Cincticostella*
 (Insecta: Ephemeroptera: Ephemereillidae) from Japan.
 Species Diversity, 8(4): 311-346.
 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育,
 28(1): 26-29.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自

- 然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆
 虫. すかしば, (16): 29-41.

ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae

隠岐諸島からはマエグロヒメフタオカゲロウ1種が記録
 されている。

12. マエグロヒメフタオカゲロウ *Ameletus costalis* (Ma-
 tsumura)
 島後 (谷ほか, 1982)

文献

- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆
 虫. すかしば, (16): 29-41.

コカゲロウ科 Baetidae

隠岐諸島からは4種が記録されている。

13. フタバコカゲロウ *Baetiella japonica* (Imanishi)
 島後 (谷ほか, 1982)
 14. シロハラコカゲロウ *Baetis thermicus* Ueno
 島後 (林ほか, 2013)
 島後 (林ほか, 2015)
 15. ツシマコカゲロウ *Baetis tsushimensis* Gose
 島後 (谷ほか, 1982)
 16. フタバカゲロウ *Cloeon dipterum* (Linnaeus)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012
 年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別
 号, (8): 1-73.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキ
 グリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自
 然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島
 根県隠岐高等学校研究部.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆
 虫. すかしば, (16): 29-41.

ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae

隠岐諸島からは9種が記録されている。

17. オビカゲロウ *Bleptus fasciatus* Eaton
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (林ほか, 2013)
 18. ミヤマタニガワカゲロウ *Cinygma hirasana* (Imanishi)
 島後 (谷ほか, 1982)
 19. キブネタニガワカゲロウ *Ecdyonurus kubunensis* Ima-
 nishi
 隠岐 (島根県, 1975)

- 鳥後 (西村, 1966)
20. クロタニガワカゲロウ *Ecdyonurus tobiironis* Takahashi
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (林ほか, 2013)
21. シロタニガワカゲロウ *Ecdyonurus yoshidae* Takahashi
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (西村, 1966)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (西村, 1966)
22. ナミヒラタカゲロウ *Epeorus ikanonis* Takahashi
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (西村, 1966)
鳥後 (谷ほか, 1982)
23. エルモンヒラタカゲロウ *Epeorus latiforium* Ueno
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (西村, 1966)
鳥後 (谷ほか, 1982)
24. ユミモンヒラタカゲロウ *Epeorus nipponicus* (Ueno)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (林ほか, 2013)
25. キハダヒラタカゲロウ *Heptagenia kihada* Matsumura
鳥後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

トンボ目 Odonata

隠岐産水生昆虫の主要な分類群であり, 11科56種が記録されており, 解明度は非常に高い.

隠岐諸島のトンボ目の目録は, 鳥根県 (1975) 以降では, 門脇 (1977) や大浜ほか (1996), 大浜 (2002) がまとめている. 門脇 (1958) によって鳥後から記録されたムカシトンボは, 離島での記録として注目される. 個々の記録も数多く発表されており, 富永 (1976), 淀江 (1982, 1983, 1987, 1988), 大浜 (1988, 1990, 1991, 1993a, b, 2001, 2003, 2004, 2007, 2009), 衣笠・桂 (1992), 祖田 (1993), 祖田・大浜 (1995), 野津・戸田 (1996), 野津・祖田 (1997) などがある. なお, 本目録は, 大浜ほか (1996) を基に作成した.

隠岐諸島から記録のあるトンボの内, アオハダトンボ (岡

部, 1931; 木村, 1932), キトンボ (岡部, 1950), ミヤマアカネ (木村, 1932), ハッチョウトンボ (岡部, 1931), モイワサナエ (門脇, 1977) は, 隠岐産種としては保留扱いとされており (大浜ほか, 1996), 本目録でもその扱いを踏襲する.

文献

- 門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No.1」. 8p. (自刊)
- 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
- 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (鳥後, 鳥根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.
- 野津幸夫・祖田 周 (1997) 鳥根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
- 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
- 大浜祥治 (1988) 隠岐におけるサラサヤンマ観察のこと. 鳥根野生生物研究会会報, (5): 38.
- 大浜祥治 (1990) 隠岐・西ノ島でヒメアカネを採集. すかしば, (34): 12.
- 大浜祥治 (1991) '91年隠岐・鳥後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.
- 大浜祥治 (1993a) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
- 大浜祥治 (1993b) 1993年隠岐・鳥後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.
- 大浜祥治 (2001) 隠岐・知夫里島でハネビロエゾトンボを採集. すかしば, (49): 28.
- 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
- 大浜祥治 (2003) 隠岐・島前の海士町でモノサシトンボが確認される. すかしば, (51): 15.
- 大浜祥治 (2004) 隠岐・鳥後の油井ノ池でコバネアオイトトンボが大発生. すかしば, (52): 13.
- 大浜祥治 (2007) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集. すかしば, (55): 24.
- 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
- 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-鳥根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
- 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 鳥根教育, (430): 10-15.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑組」80p. 鳥根県隠岐高等学校研究部.
- 鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 祖田 周 (1993) 知夫里島・西ノ島で採集したトンボ. すかしば, (39/40): 53.
- 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆

- 虫. すかしば, (16): 29-41.
 富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ. *gracile*, (20): 25-26.
 淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.
 淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 34.
 淀江賢一郎 (1987) 隠岐諸島知夫里島で採集したトンボ類. 中国昆虫, (1): 10.
 淀江賢一郎 (1988) 隠岐諸島のトンボ・メモ (4). 中国昆虫, (2): 14.

イトトンボ科 Coenagrionidae

隠岐諸島からは6種が記録されている。なお、岡部 (1931) がイトトンボを記録しているが、対応する種は不明である。

1. キイトトンボ *Ceriatrion melanurum* Selys

- 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (富永, 1976)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (淀江, 1988)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 1993b)

2. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer

- 島後 (門脇, 1977)
 島後 (淀江, 1988)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (衣笠・桂, 1992)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)

- 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (祖田, 1993)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)

3. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* (Rambur)

- 島後 (淀江, 1988)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (祖田, 1993)
 知夫里島 (大浜, 2009)

4. クロイトトンボ *Paracercion calamorum calamorum* (Ris)

- 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (淀江, 1988)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (衣笠・桂, 1992)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (林ほか, 2006)
 西ノ島 (門脇, 1977)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (祖田・大浜, 1995)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)

5. オオイトトンボ *Paracercion sieboldii* (Selys)

- 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・祖田, 1997)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (門脇, 1977)

西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (祖田・大浜, 1995)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)

6. ムスジイトンボ *Paracercion melanotum* (Selys)
 島後 (淀江, 1988)

文献

林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-。ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (島後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 島根県隠岐高等学校研究部.
 大浜祥治 (1991) '91年隠岐・島後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.
 大浜祥治 (1993a) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
 大浜祥治 (1993b) 1993年隠岐・島後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 祖田 周 (1993) 知夫里島・西ノ島で採集したトンボ. す

かしば, (39/40): 53.

祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
 富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ. *gracile*, (20): 25-26.
 淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 34.
 淀江賢一郎 (1987) 隠岐諸島知夫里島で採集したトンボ類. 中国昆虫, (1): 10.
 淀江賢一郎 (1988) 隠岐諸島のトンボ・メモ (4). 中国昆虫, (2): 14.

モノサシトンボ科 *Platycnemididae*

隠岐諸島からはモノサシトンボ1種が記録されている。

7. モノサシトンボ *Copera annulata* (Selys)

隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 島前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 2003)
 中ノ島 (大浜, 2009)

文献

木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 大浜祥治 (2003) 隠岐・島前の海士町でモノサシトンボが確認される. すかしば, (51): 15.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.

アオイトトンボ科 *Lestidae*

隠岐諸島からは2種が記録されている。コバネアオイトトンボは、環境省や島根県のレッドデータブック掲載種であり、島根県本土側での既知産地の記録が近年途絶えている中で、隠岐諸島の生息地の保全はきわめて重要な課題である。

8. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

西ノ島 (木村, 1939)

西ノ島 (大浜, 2009)

中ノ島 (大浜, 2009)

知夫里島 (大浜ほか, 1996)

知夫里島 (大浜, 2002)

知夫里島 (大浜, 2009)

9. コバネアオイトトンボ *Lestes japonicus* Selys

鳥後 (門脇, 1977)

鳥後 (大浜, 1991)

鳥後 (大浜, 2002)

鳥後 (大浜, 2004)

鳥後 (大浜, 2009)

文献

門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫 4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)

大浜祥治 (1991) '91年隠岐・鳥後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.

大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.

大浜祥治 (2004) 隠岐・鳥後の油井ノ池でコバネアオイトトンボが大発生. すかしば, (52): 13.

大浜祥治 (2009) 隠岐・鳥前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.

大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.

島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

カワトンボ科 Calopterygidae

隠岐諸島からは2種が記録されている. 隠岐諸島産のオオカワトンボは離島に生息する唯一の個体群として注目される. なお, 新分類ではニホンカワトンボと新称されている.

10. ハグロトンボ *Atracalopteryx atrata* (Selys)

隠岐 (岡部, 1931)

隠岐 (岡部, 1950)

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

鳥後 (門脇, 1958)

鳥後 (富永, 1976)

鳥後 (門脇, 1977)

鳥後 (谷ほか, 1982)

鳥後 (淀江, 1982)

鳥後 (淀江, 1983)

鳥後 (大浜, 1991)

鳥後 (大浜, 1993)

鳥後 (野津・戸田, 1996)

鳥後 (門脇・平塚, 1996)

鳥後 (大浜ほか, 1996)

鳥後 (野津・祖田, 1997)

鳥後 (大浜, 2009)

西ノ島 (木村, 1939)

西ノ島 (大浜, 1990)

西ノ島 (野津・戸田, 1996)

西ノ島 (大浜ほか, 1996)

西ノ島 (野津・祖田, 1997)

西ノ島 (林ほか, 2012)

西ノ島 (大浜, 2009)

中ノ島 (大浜, 2002)

知夫里島 (大浜, 2002)

11. オオカワトンボ *Mnais costalis* Selys※

隠岐 (岡部, 1931) *

隠岐 (島根県, 1975) *

鳥後 (門脇, 1958) *

鳥後 (富永, 1976) *

鳥後 (Asahina, 1976)

鳥後 (門脇, 1977)

鳥後 (淀江, 1983)

鳥後 (大浜, 1988)

鳥後 (Suzuki and Kadowaki, 1986)

鳥後 (Suzuki and Kadowaki, 1987a)

鳥後 (Suzuki and Kadowaki, 1987b)

鳥後 (衣笠・桂, 1992)

鳥後 (大浜, 1993)

鳥後 (祖田・大浜, 1995)

鳥後 (野津・戸田, 1996)

鳥後 (大浜ほか, 1996)

鳥後 (門脇, 1996)

鳥後 (大浜, 2002)

鳥後 (林・土橋・二橋, 2004) ※

鳥後 (大浜, 2009)

*カワトンボとして記録

※DNA解析に基づく新分類ではニホンカワトンボとされている.

一. アオハダトンボ *Calopteryx japonica* Selys※

隠岐 (岡部, 1931)

鳥前 (木村, 1932)

※種名だけの記録で標本が現存せず, その後の再発見もないため再録が保留されている (大浜ほか, 1996).

文献

Asahina, S. (1976) A revisional study of the genus *Mnais* (Odonota, Calopterygidae) III. A proposed taxonomy of Japanese *Mnais*. *TOMBO*, (19): 2-16.

林 文夫・土橋重人・二橋 亮 (2004) 日本産カワトンボ属の分類学的, 生態的諸問題への新しいアプローチ (2)

資料. Aeschna, (42): 1-18.

林 成多・松田隆嗣・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2012) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 II. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 287-297.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No. 1」. 8p. (自刊)

門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫 4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.

門脇久志 (1996) 隠岐諸島の昆虫 16. 隠岐のカワトンボ. すかしば, (43/44): 73-78.

門脇久志・平塚純一 (1996) 隠岐のトンボ幼虫採集記録. すかしば, (43/44): 92.

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)

衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (島後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.

野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.

野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.

岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.

岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第 2 卷「隠岐雑俎」. 80p. 島根県隠岐高等学校研究部.

大浜祥治 (1988) 隠岐におけるサラサヤンマ観察のこと. 島根野生生物研究会会報, (5): 38.

大浜祥治 (1990) 隠岐・西ノ島でヒメアカネを採集. すかしば, (34): 12.

大浜祥治 (1991) '91 年隠岐・島後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.

大浜祥治 (1993) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.

大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.

大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.

大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.

島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第 2 集 別表 2: 1-35.

祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994 年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.

Suzuki, K. and H. Kadowaki (1986) Geographical distribution of Mnais damselflies (Odonata, Calopterygidae) in Shimane Prefecture including Oki Islands, Chugoku District, Southwest Japan. *J. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. (Nat. Sci)*, **18**: 35-45.

Suzuki, K. and H. Kadowaki (1987a) Geographical distribution of Mnais damselflies (Odonata, Calopterygidae) in Shimane Prefecture including Oki Islands, Chugoku District, Southwest Japan. II. *J. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ.*

(*Nat. Sci*), **19**: 35-54.

Suzuki, K. and H. Kadowaki (1987b) Geographical distribution of Mnais damselflies (Odonata, Calopterygidae) in Shimane Prefecture including Oki Islands, Chugoku District, Southwest Japan. III. *J. Coll. Lib. Arts, Toyama Univ. (Nat. Sci)*, **20**(2): 49-61.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ. gracile, (20): 25-26.

淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.

淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 34.

ムカシトンボ科 *Epiophlebiidae*

隠岐諸島の島後からムカシトンボ 1 種が記録されている.

12. ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys)
- | | |
|----|---------------|
| 隠岐 | (島根県, 1975) |
| 島後 | (門脇, 1958) |
| 島後 | (水戸野, 1959) |
| 島後 | (門脇, 1977) |
| 島後 | (近木, 1980) |
| 島後 | (谷ほか, 1982) |
| 島後 | (野津, 1983) |
| 島後 | (祖田・大浜, 1995) |
| 島後 | (大浜ほか, 1996) |
| 島後 | (大浜, 2002) |
| 島後 | (林ほか, 2011) |

文献

近木英哉 (1980) 第 2 回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書 (昆虫類). 環境庁.

林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No. 1」. 8p. (自刊)

門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫 4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.

水戸野武夫 (1959) 隠岐島で採れた珍しい昆虫. 新昆虫, **12**(2)46.

野津 大 (1983) 「隠岐の生物」. 読売新聞社松江支局.

大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.

大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第 2 集 別表 2: 1-35.

祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994 年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

サナエトンボ科 Gomphidae

隠岐諸島からは6種が記録されている。岡部 (1931) が記録したサナエトンボは対応する種が不明である。

13. ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys)

隠岐 (岡部, 1931) *
 島後 (富永, 1976)
 島後 (近木, 1979)
 島後 (淀江, 1982)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (門脇・平塚, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (松木・大浜, 2001)
 島後 (大浜, 2002)

*ヒメヤマトンボとして記録

14. コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys)

島後 (衣笠・桂, 1992)
 島後 (大浜, 2002)

15. ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys)

隠岐 (Asahina, 1970)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (富永, 1976) *
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (淀江, 1983)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (祖田・大浜, 1995)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 *オナガサナエとして記録され、後に訂正された (谷ほか, 1982).

一. モイワサナエ *Davidius moiwanus* (Okumura) *

島後 (門脇, 1977)
 ※標本の所在が不明で再発見されていないため再録が保留されている (大浜ほか, 1996).

16. ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* (Fraser)

島後 (門脇, 1977)
 島後 (衣笠・桂, 1992)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)

17. オジロサナエ *Stylogomphus suzuki* (Oguma)

島後 (富永, 1976)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (近木, 1979)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (淀江, 1983)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)

18. コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys

隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (西村, 1966)
 島後 (富永, 1976)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (淀江, 1982)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (門脇・平塚, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 島後 (林ほか, 2011)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (祖田, 1993)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)

文献

- Asahina, S. (1970) The Odonota of Tsushima. Mem. Nat. Sci. Mus. Tokyo, (3): 211-224.
 近木英哉 (1975) 隠岐島 (昆虫). 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集: 35-39.
 近木英哉 (1979) 昆虫風土記・島根県. 昆虫と自然, 14(5): 4-8.
 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫 4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 門脇久志・平塚純一 (1996) 隠岐のトンボ幼虫採集記録. すかしば, (43/44): 92.
 松本和雄・大浜祥治 (2001) 島根県産ヤマサナエ幼虫の背棘・側棘数の変異について. すかしば, (49): 81-85.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (島後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.
 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すか

しば, (43/44): 63-67.
 大浜祥治 (1993) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 祖田 周 (1993) 知夫里島・西ノ島で採集したトンボ. すかしば, (39/40): 53.
 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
 富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ. *gracile*, (20): 25-26.
 淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.
 淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 34.

オニヤンマ科 Cordulegastridae

隠岐諸島からはオニヤンマ1種が記録されている.

19. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys)
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (門脇, 1958)
 島後 (富永, 1976)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (門脇・平塚, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・祖田, 1997)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (大浜, 2009)
 島前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)

西ノ島 (門脇, 1977)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (林ほか, 2015)

文献
 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No.1」. 8p. (自刊)
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 門脇久志・平塚純一 (1996) 隠岐のトンボ幼虫採集記録. すかしば, (43/44): 92.
 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
 大浜祥治 (1991) '91年隠岐・島後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.
 大浜祥治 (1990) 隠岐・西ノ島でヒメアカネを採集. すかしば, (34): 12.
 大浜祥治 (1993a) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
 大浜祥治 (1993b) 1993年隠岐・島後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 80p.

- 島根県隠岐高等学校研究部。
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ。すかしば, (41/42): 38.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.
 富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ。 *gracile*, (20): 25-26.
 淀江賢一郎 (1987) 隠岐諸島知夫里島で採集したトンボ類。中国昆虫, (1): 10.

ヤンマ科 Aeshnidae

隠岐諸島からは 11 種が記録されている。

20. サラサヤンマ *Sarasaeschna pryeri* (Martin)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (大浜, 1988)
 島後 (祖田・大浜, 1995)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
21. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (淀江, 1982)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (門脇・平塚, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・祖田, 1997)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (林ほか, 2013)
 西ノ島 (淀江, 1982a)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (祖田, 1993)
22. コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani* (Selys)
 島後 (富永, 1976)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
23. アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* Selys
 隠岐 (島根県, 1960) *
 隠岐 (島根県, 1975) *
 島後 (近木, 1980)
 島後 (淀江, 1985)
 島後 (野津・戸田, 1996)
- 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (木村, 1939) *
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2002)
- *門脇 (1977) は, 木村 (1939), 島根県 (1960, 1975) の記録について, 再録を保留していたが, その後再発見された。
24. ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜, 1993b)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
25. カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Barteneff
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (木村, 1939)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
26. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (近木, 1975)
 島後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (祖田, 1993)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)
27. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (Selys)
 島後 (淀江, 1982)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・祖田, 1997)
 島後 (大浜, 2002)

- 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜, 1993b)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜, 2009)
28. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus*
 Oguma
 鳥後 (大浜, 1988)
 鳥後 (衣笠・桂, 1992)
 鳥後 (大浜, 1993a)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)
29. ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (門脇・平塚, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 鳥前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (祖田, 1993)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
- 知夫里島 (大浜, 2009)
 30. オオギンヤンマ *Anax guttatus* (Burmeister)
 鳥後 (大浜, 1999)
 西ノ島 (大浜, 2007)
- 文献
 近木英哉 (1975) 隠岐島 (昆虫). 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集: 35-39.
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 門脇久志・平塚純一 (1996) 隠岐のトンボ幼虫採集記録. すかしば, (43/44): 92.
 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)
 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (鳥後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 大浜祥治 (1988) 隠岐におけるサラサヤンマ観察のこと. 島根野生生物研究会会報, (5): 38.
 大浜祥治 (1990) 隠岐・西ノ島でヒメアカネを採集. すかしば, (34): 12.
 大浜祥治 (1993) 1993年隠岐・鳥後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.
 大浜祥治 (1999) 1998年島根県におけるオオギンヤンマの記録. すかしば, (47): 1-3.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
 大浜祥治 (2007) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集. すかしば, (55): 24.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・鳥前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 島根県隠岐高等学校研究部.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 祖田 周 (1993) 知夫里島・西ノ島で採集したトンボ. すかしば, (39/40): 53.
 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.
 谷 幸三・富永 修・土井伸治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
 富永 修 (1976) 隠岐 (鳥後) のトンボ. gracile, (20):

25-26.

- 淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.
 淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 14.
 淀江賢一郎 (1985) 隠岐諸島 (鳥後) でアオヤンマを採集. 昆虫と自然, 20(14): 14.

エゾトンボ科 Corduliidae

隠岐諸島からは3種が記録されている.

31. エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* (Uhler)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 鳥後 (近木, 1975)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (大浜, 1993)
 鳥後 (大浜, 2009)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
32. ハネビロエゾトンボ *Somatochlora clavata* Oguma
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 2001)
33. タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Förster
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (大浜, 1993)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)

文献

- 近木英哉 (1975) 隠岐島 (昆虫). 「鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告書第2集」: 35-39.
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 鳥根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
 大浜祥治 (1991) '91年隠岐・鳥後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.
 大浜祥治 (1993) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
 大浜祥治 (2001) 隠岐・知夫里島でハネビロエゾトンボを採集. すかしば, (49): 28.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば,

(50): 1-36.

- 大浜祥治 (2009) 隠岐・鳥前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-鳥根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.

ヤマトンボ科 Macromiidae

隠岐諸島からは2種が記録されている.

34. コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (谷ほか, 1982)
 鳥後 (大浜, 1993a)
 鳥後 (大浜, 1998)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (門脇・平塚, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (林ほか, 2011)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜, 1993a)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
35. オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* (Brauer)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 2009)

文献

- 林 成多・藤原淳一・鳥田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に鳥後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
 門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.
 野津幸夫・祖田 周 (1997) 鳥根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.
 野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.
 大浜祥治 (1991) '91年隠岐・鳥後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.

大浜祥治 (1993a) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.
 大浜祥治 (1993b) 1993年隠岐・島後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.
 大浜祥治 (1998) 隠岐におけるサラサヤンマの観察. 島根野生生物研究会会報, (5): 38.
 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.
 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.
 祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
 淀江賢一郎 (1987) 隠岐諸島知夫里島で採集したトンボ類. 中国昆虫, (1): 10.

トンボ科 Libellulidae

隠岐諸島からは21種が記録されている.

36. ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys)

島後 (大浜, 1993a)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)

37. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler)

隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (門脇, 1958)
 島後 (富永, 1976)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (大浜, 1993a)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (門脇・平塚, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (野津・祖田, 1997)

島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)
 島前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (門脇, 1977)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (祖田, 1993)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (門脇, 1977)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (林ほか, 2013)

知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (祖田, 1993)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)
 松島 (門脇, 1977)

38. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum* (Uhler)

隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (門脇, 1958)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (大浜, 1988)
 島後 (祖田・大浜, 1995)
 島後 (野津・戸田, 1996)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 島後 (大浜, 2009)

西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (祖田・大浜, 1995)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)

39. オオシオカラトンボ *Orthetrum melania* (Selys)

隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (淀江, 1982)
 島後 (淀江, 1988)

- 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (大浜, 1993a)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (祖田・大浜, 1995)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (大浜, 2009)
- 一. ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* Rambur※
 隠岐 (岡部, 1931)
 ※再発見されていないため再録が保留されている (大浜ほか, 1996).
40. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahinai*
 Schmidt
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (大浜, 1988)
 鳥後 (衣笠・桂, 1992)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
41. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae*
 Kiauta
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (大浜, 1993a)
- 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
42. タイリクアカネ *Sympetrum striolatum imitoides*
 Bartenef
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2009)
- 一. ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* (Selys) ※
 鳥前 (木村, 1932)
 ※再発見されていないため再録が保留されている (大浜ほか, 1996).
43. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys)
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 鳥後 (淀江, 1983)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 鳥前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (門脇, 1977)
 西ノ島 (淀江, 1982)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 2002)

44. アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys)
- 鳥後 (富永, 1976)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (大浜, 1993a)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (門脇・平塚, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 鳥後 (林ほか, 2015)
 鳥前 (木村, 1932)
 西ノ島 (淀江, 1982)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (林ほか, 2012)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)
45. タイリクアキアカネ *Sympetrum depressiusculum* (Selys)
- 鳥後 (祖田・大浜, 1999)
 鳥後 (祖田・大浜, 2000)
 鳥後 (祖田・大浜, 2001)
 鳥後 (祖田・大浜, 2002)
 鳥後 (祖田・大浜, 2003)
 鳥後 (祖田・大浜, 2004)
 鳥後 (祖田・大浜, 2014)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
46. オナガアカネ *Sympetrum cordulegaster* (Selys)
- 鳥後 (祖田・大浜, 1999)
 鳥後 (祖田・大浜, 2000)
 鳥後 (祖田・大浜, 2001)
 鳥後 (祖田・大浜, 2002)
 鳥後 (祖田・大浜, 2004)
 鳥後 (祖田・大浜, 2007)
 鳥後 (祖田・大浜, 2014)
 西ノ島 (大浜, 2009)
47. ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* (Bartenef)
- 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
- 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (祖田, 1993)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 1993a)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜, 2009)
48. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* (Selys)
- 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (鳥根県, 1960)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (淀江, 1988)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (大浜, 1993a)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (門脇・平塚, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)
49. リスアカネ *Sympetrum risi risi* Bartenef
- 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (門脇・平塚, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (祖田, 1993)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)

- 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993a)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (大浜, 2009)
50. コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* Ris
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 2002)
51. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2002)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
52. ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma
 鳥後 (淀江, 1982)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜ほか, 1996)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜, 2002)
 知夫里島 (大浜, 2009)
- 一. キトンボ *Sympetrum croceolum* Selys※
 隠岐 (岡部, 1950)
 ※再発見されていないため再録が保留されている (大浜ほか, 1996).
53. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister)
 隠岐 (鳥根県, 1960)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 鳥後 (門脇, 1958)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (谷ほか, 1982)
 鳥後 (大浜, 1991)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (野津・祖田, 1997)
 鳥後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜, 1993b)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 知夫里島 (淀江, 1987)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
54. ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius)
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (鳥根県, 1960)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 鳥後 (門脇, 1958)
 鳥後 (門脇, 1977)
 鳥後 (野津・戸田, 1996)
 鳥後 (大浜ほか, 1996)
 鳥後 (大浜, 2002)
 鳥後 (大浜, 2009)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (淀江, 1983)
 西ノ島 (大浜, 1990)
 西ノ島 (野津・戸田, 1996)
 西ノ島 (大浜ほか, 1996)
 西ノ島 (野津・祖田, 1997)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 1993a)
 中ノ島 (大浜, 1993b)
 中ノ島 (野津・戸田, 1996)
 中ノ島 (野津・祖田, 1997)
 中ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 知夫里島 (大浜, 1993b)
 知夫里島 (祖田・大浜, 1995)
 知夫里島 (野津・戸田, 1996)
 知夫里島 (大浜ほか, 1996)
 知夫里島 (大浜, 2002)

55. ハネビロトンボ *Tramea virginia* (Rambur)
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (大浜, 1991)
 島後 (大浜ほか, 1996)
 島後 (大浜, 2002)
 西ノ島 (大浜, 2007)
 西ノ島 (大浜, 2009)
56. チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys
 島後 (門脇, 1977)
 島後 (三島, 2012)
 島後 (林, 2014)

文献

林 成多 (2014) 隠岐島後のチョウトンボの記録 (2004年). すかしば, (61): 31.

林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No. 1」. 8p. (自刊)

門脇久志 (1977) 隠岐島の昆虫 4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8): 1-9, 1 pl.

門脇久志・平塚純一 (1996) 隠岐のトンボ幼虫採集記録. すかしば, (43/44): 92.

木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村二分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)

衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (島後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38): 160.

三島秀夫 (2012) 隠岐の島町油井の池で見たチョウトンボ. すかしば, (59): 9.

野津幸夫・祖田 周 (1997) 島根県のトンボ調査記録 (1). すかしば, (45): 59-64.

野津幸夫・戸田顕史 (1996) 隠岐のトンボ採集記録. すかしば, (43/44): 63-67.

岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.

岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 80p. 島根県隠岐高等学校研究部.

大浜祥治 (1988) 隠岐におけるサラサヤンマ観察のこと. 島根野生生物研究会会報, (5): 38.

大浜祥治 (1990) 隠岐・西ノ島でヒメアカネを採集. すかしば, (34): 12.

大浜祥治 (1991) '91年隠岐・島後のトンボ採集メモ. すかしば, (36): 4.

大浜祥治 (1993a) 隠岐海洋自然館トンボコレクションリスト. すかしば, (39/40): 49.

大浜祥治 (1993b) 1993年隠岐・島後のトンボメモ. すかしば, (39/40): 50.

大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50): 1-36.

大浜祥治 (2007) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集. すかしば, (55): 24.

大浜祥治 (2009) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57): 37-44.

大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相[IV]. すかしば, (43/44): 1-26.

島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

祖田 周 (1993) 知夫里島・西ノ島で採集したトンボ. すかしば, (39/40): 53.

祖田 周・大浜祥治 (1995) 1994年隠岐のトンボメモ. すかしば, (41/42): 38.

祖田 周・大浜祥治 (1999) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (47): 42.

祖田 周・大浜祥治 (2000) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (48): 49.

祖田 周・大浜祥治 (2001) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (49): 80.

祖田 周・大浜祥治 (2002) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (50): 58.

祖田 周・大浜祥治 (2003) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (51): 31-33.

祖田 周・大浜祥治 (2004) タイリクアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (52): 15.

祖田 周・大浜祥治 (2007) 2006年 島根県の秋季飛来アカトンボの記録. すかしば, (55): 60.

祖田 周・大浜祥治 (2008) 2007年 島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (56): 26.

祖田 周・大浜祥治 (2014) 2012-2013年, 島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (61): 29.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

富永 修 (1976) 隠岐 (島後) のトンボ. *gracile*, (20): 25-26.

淀江賢一郎 (1982) 隠岐諸島のトンボ・メモ. すかしば, (17): 26.

淀江賢一郎 (1983) 隠岐諸島のトンボ・メモ (2). すかしば, (20): 34.

淀江賢一郎 (1987) 隠岐諸島知夫里島で採集したトンボ類. 中国昆虫, (1): 10.

淀江賢一郎 (1988) 隠岐諸島のトンボ・メモ (4). 中国昆虫, (2): 14.

カワゲラ目 Plecoptera

隠岐諸島からは6科22種が記録されている。このほか、未同定の種としてクロカワゲラ科を含む21種が報告されており、より多くの種が分布していることは確実である (稲田ほか, 2001)。日本産カワゲラ目の分類学的な研究が進むことにより、隠岐諸島産カワゲラ目の全容が明らかになることが期待される。ここでは林・門脇 (2013) の目録を基にその後の記録を追加した。なお、木村 (1932) が記録し

たカワゲラは対応する種が不明である。

文献

林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島産直翅系昆虫類 (昆虫綱多新翅亜節) の目録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 75-90.

稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

アミメカワゲラ科 Perlodidae

隠岐諸島からは3種が記録されているほかに, 種名未決定のコグサヒメカワゲラ属が報告されている (稲田ほか, 2001).

1. ヒロバネアミメカワゲラ *Pseudomegarcys japonica* Kohno
鳥後 (稲田ほか, 2001)
2. フタスジクサカワゲラ (ヤマトミドリカワゲラモドキ) *Isoptera nipponica* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)
3. アサカワミドリカワゲラモドキ (アサカワヒメカワゲラ) *Isoptera asakawae* Kohno
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (稲田ほか, 2001) *
*アサカワヒメカワゲラ C型として記録

文献

稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

カワゲラ科 Perlidae

隠岐諸島からは6種が記録されている. 他に, 種名未決定のトゥゴウカワゲラ属の幼虫が報告されている (稲田ほか, 2001).

4. キコナガカワゲラ *Gibosia hatakeyamae* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)
5. オオメコナガカワゲラ *Gibosia thoracica* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)
鳥後 (林ほか, 2013)
6. クロヒゲカワゲラ *Kamimuria quadrata* Klapalek
鳥後 (戸田, 2000)
鳥後 (稲田ほか, 2001)
鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
7. カミムラカワゲラ (カワゲラ) *Kamimuria tibialis* (Pictet)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (稲田ほか, 2001)
8. ウエノカワゲラ *Kamimuria uenoi* Kohno
鳥後 (戸田, 2000)
鳥後 (稲田ほか, 2001)
鳥後 (林ほか, 2013)
9. “タニフタメカワゲラ (仮称)” *Neoptera* sp.5

鳥後 (稲田ほか, 2001)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.
谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

戸田顕史 (2000) 島根県で採集したカワゲラ類. すかしば, (48): 52-54.

ミドリカワゲラ科 Chloroperidae

隠岐諸島からはニッコウミドリカワゲラ1種が記録されている. 少なくとも種名未決定の2種を含むセスジミドリカワゲラ属の成虫が報告されている (稲田ほか, 2001).

10. ニッコウミドリカワゲラ *Sweltsa nikkoensis* (Okamoto)
鳥後 (谷ほか, 1982)

文献

稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

シタカワゲラ科 Taeniopterygidae

隠岐諸島からはオビシタカワゲラ1種が記録されているが, 数種を含むオビシタカワゲラ属の幼虫が報告されている (稲田ほか, 2001).

11. オビシタカワゲラ *Obipteryx femoralis* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)

文献

稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

オナシカワゲラ科 Nemouridae

隠岐諸島からは9種が記録されているが, 未同定の複数属の幼虫・成虫が報告されている (稲田ほか, 2001).

12. ジュッボンオナシカワゲラ *Amphinemura decemseta* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)
13. モンオナシカワゲラ *Amphinemura megaloba* Kawai
鳥後 (稲田ほか, 2001)
14. サトモンオナシカワゲラ *Amphinemura zonata* Okamoto
鳥後 (稲田ほか, 2001)
15. クロオナシカワゲラ *Indonemoura nohirae* (Okamoto)

- 鳥後 (稲田ほか, 2001)
鳥後 (林ほか, 2013)
16. アカギオナシカワゲラ *Nemoura akagii* Kawai
鳥後 (稲田ほか, 2001)
17. ウエノオナシカワゲラ *Nemoura uenoi* Kawai
鳥後 (稲田ほか, 2001)
18. フタトゲオナシカワゲラ (オナシカワゲラ)
Nemoura fulva (Samal)
鳥後 (稲田ほか, 2001)
19. チノオナシカワゲラ *Nemoura chinonis* (Okamoto)
鳥後 (稲田ほか, 2001)
20. ヨコトゲオナシカワゲラ *Nemoura transversospinosa*
Zhiltzova
鳥後 (稲田ほか, 2001)
21. ケフサオナシカワゲラ *Nemoura redimiculum* Kawai
西ノ島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
(2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012
年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別
号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
(2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキ
グリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・
鳥後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

ホソカワゲラ科 Leuctridae

隠岐諸島からはモンホソカワゲラ1種が記録されている
が, 少なくとも種名未決定の2種を含むハルホソカワゲラ
属の成虫が報告されている (稲田ほか, 2001).

22. モンホソカワゲラ *Paraleuctra cercia* (Okamoto)
鳥後 (稲田ほか, 2001)

文献

- 稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐・
鳥後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49): 71-79.

カメムシ目 Hemiptera

隠岐諸島からは10科34種が記録されている. 隠岐諸島
の水生半翅類の記録としては, 日浦 (1967) が初期のもの
として注目される. まとまった記録としては, 尾原 (1997,
1999, 2006, 2008a, b) による一連の報告がある. 鳥根県
産水生カメムシ類は, 川野ほか (2011) によってまとめら
れており, これに基づいて, その後の記録を追加・整理し
た.

文献

- 日浦 勇 (1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究
I. 大阪市立自然史博物館研究報告, (20): 65-81.
- 川野敬介・尾原和夫・大木克行・吉岡誠人・青木新吾・林
成多・皆木宏明 (2011) 鳥根県産水生半翅類の分布記
録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (2): 1-104.

- 尾原和夫 (1997) 鳥根県の両生・水生カメムシ類. すかし
ば, (45): 13-16.
- 尾原和夫 (1999) 隠岐・鳥後で採集した異翅半翅類. すか
しば, (47): 19-21.
- 尾原和夫 (2006) 隠岐諸島のアメンボ類. *Rostria*, (52):
61-63.
- 尾原和夫 (2008a) 鳥田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すか
しば, (56): 1-7.
- 尾原和夫 (2008b) 鳥根県で採集された未公表の異翅半翅類
(2). すかしば, (56): 9-22.

タイコウチ科 Nepidae

隠岐諸島からは2種が記録されている. 本土側で記録の
あるヒメミズカマキリは分布していない可能性が高い.

1. タイコウチ *Laccotrephes japonensis* Scott

- 隠岐 (岡部, 1931)
隠岐 (鳥根県, 1960)
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (日浦, 1967)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (大浜, 2001)
鳥後 (尾原, 2008)
鳥後 (小早川・大浜, 2007)
鳥後 (林ほか, 2015)
鳥前 (木村, 1932)
西ノ島 (木村, 1939)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (尾原, 2008)
西ノ島 (林ほか, 2015)
中ノ島 (尾原, 2008)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)

2. ミズカマキリ *Ranatra chinensis* Mayr

- 隠岐 (岡部, 1931)
隠岐 (鳥根県, 1960)
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (大浜, 2001)
鳥後 (尾原, 2008)
鳥前 (木村, 1932)
西ノ島 (木村, 1939)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (大浜, 2001)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (尾原, 2008)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
(2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキ
グリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 日浦 勇 (1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究
I. 大阪市立自然史博物館研究報告, (20): 65-81.
- 木村康信 (1932) 鳥前に於ける動植物分布. 「概観鳥前地
誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」.

23 p.(自刊)

- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫。すかしば, (55): 51-54.
 尾原和夫 (2008) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2)。すかしば, (56): 9-22.
 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される。すかしば, (49): 26-27.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物。島根教育, (430): 10-15.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

コオイムシ科 Belostomatidae

隠岐諸島からは2種が記録されている。コオイムシ類では、オオコオイムシは分布せず、コオイムシが単独で分布しているとみられる。しかしながら隠岐諸島におけるコオイムシの近年の記録は非常に少なく、絶滅が危惧される状況である。

3. コオイムシ *Appasus japonicus* Vuillefroy

- 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (日浦, 1967)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (尾原, 1997)
 島後 (大浜, 2006)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (尾原, 2008)
 島前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)

4. タガメ *Lethocerus deyrolli* (Vuillefroy)

- 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 島後 (環境省, 1980)
 島後 (大浜, 2001)
 島後 (八幡, 2004)
 島前 (木村, 1932)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (大浜, 2009)
 中ノ島 (大浜, 2009)

文献

- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録。ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
 日浦 勇 (1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究 I. 大阪市立自然史博物館研究報告, (20): 65-81.
 環境庁編 (1980) 「日本の重要な昆虫類 中国版」: 39.
 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布。「概観島前地

誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.

- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 尾原和夫 (1997) 島根県の両生・水生カメムシ類。すかしば, (45): 13-16.
 尾原和夫 (2008) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2)。すかしば, (56): 9-22.
 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される。すかしば, (49): 26-27.
 大浜祥治 (2006) 隠岐・島後の油井ノ池でコオイムシを確認。すかしば, (54): 36.
 大浜祥治 (2009) 隠岐・島前でタガメを確認。すかしば, (57): 36.
 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物。島根教育, (430): 10-15.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.
 八幡浩二 (2004) 隠岐・島後でまたタガメが採集される。すかしば, (52): 29.

ミズムシ科 Corixidae

隠岐諸島からは7種が記録されている。ハイイロチビミズムシやクロチビミズムシ、ヒメコミズムシは近年になって記録された種であり、調査不足とみられる。また、木村 (1932, 1939) によって記録されたコミズムシは再確認されていない。

5. ハイイロチビミズムシ *Micronecta sahlbergii* (Jakovlev)

- 中ノ島 (林ほか, 2013)

6. チビミズムシ *Micronecta sedula* Horvath

- 島後 (友国, 1985)
 島後 (尾原, 2008a)

7. クロチビミズムシ *Micronecta orientalis* Wroblewski

- 島後 (林ほか, 2015)

8. オオミズムシ *Hesperocorixa kolthoffi* (Lundblad)

- 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2015)

9. ヒメコミズムシ *Sigara matsumurai* Jaczueski

- 島後 (林ほか, 2015)

10. エサキコミズムシ *Sigara septemlineata* (Paiva)

- 島後 (尾原, 2008a)
 島後 (尾原, 2008b)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (尾原, 2008b)
 知夫里島 (尾原, 2008b)

11. コミズムシ *Sigara substriata* (Uhler)

- 隠岐 (島根県, 1975)
 島前 (木村, 1932)

西ノ島 (木村, 1939) *
* コフウセンとして記録

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 尾原和夫 (2008a) 島田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56): 1-7.
- 尾原和夫 (2008b) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2). すかしば, (56): 9-22.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科学博物館専報, (18): 153-161.

マツモムシ科 Notonectidae

隠岐諸島からは2種が記録されている.

12. マツモムシ *Notonecta triguttata* Motschulsky
- 隠岐 (岡部, 1950)
- 隠岐 (島根県, 1960)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 島後 (尾原, 1999)
- 島後 (大浜, 2001)
- 島後 (尾原, 2008)
- 島後 (林ほか, 2015)
- 島前 (木村, 1932)
- 西ノ島 (木村, 1939)
- 西ノ島 (尾原, 2008)
- 西ノ島 (林ほか, 2015)
- 中ノ島 (尾原, 2008)
- 中ノ島 (林ほか, 2015)
- 知夫里島 (大浜, 2001)
- 知夫里島 (尾原, 2008)
13. コマツモムシ *Anisops ogasawarensis* Matsumura
- 島後 (尾原, 1999)
- 島後 (尾原, 2008)
- 西ノ島 (尾原, 2008)
- 西ノ島 (林ほか, 2015)
- 中ノ島 (尾原, 2008)
- 中ノ島 (林ほか, 2015)
- 知夫里島 (大浜, 2001)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 尾原和夫 (1999) 隠岐・島後で採集した異翅半翅類. すかしば, (47): 19-21.
- 尾原和夫 (2008) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2). すかしば, (56): 9-22.
- 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49): 26-27.
- 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

マルミズムシ科 Pleidae

隠岐諸島からはマルミズムシ1種が記録されている. 近縁のヒメマルミズムシは隠岐諸島には分布していない可能性が高い.

14. マルミズムシ *Paraplea japonica* (Horvath)
- 島後 (林ほか, 2015)
- 西ノ島 (林ほか, 2015)
- 中ノ島 (林ほか, 2013)
- 中ノ島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

ミズカメムシ科 Mesoveliidae

隠岐諸島からは3種が記録されている. いずれも2010年以降に確認された種である.

15. マダラミズカメムシ *Mesovelia japonica* Miyamoto
- 中ノ島 (林ほか, 2015)
16. ムモンミズカメムシ *Mesovelia miyamotoi* Kerzhner
- 中ノ島 (林ほか, 2015)
17. ウミミズカメムシ *Speovelia maritima* Esaki
- 島後 (端山, 2012)
- 中ノ島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 端山 武 (2012) 隠岐の島町のウミミズカメムシの記録.

すかしば, (59): 38-39.

イトアメンボ科 Hydrometridae

隠岐諸島からは3種が記録されている。イトアメンボは全国的な希少種であり、隠岐諸島での生息状況の把握が必要である。

18. イトアメンボ *Hydrometra albolineata* (Scott)
鳥後 (友国, 1985)
19. オキナワイトアメンボ *Hydrometra okinawana* Drake
鳥後 (日浦, 1967) *
鳥後 (確井, 2003)
*コガタイトアメンボ *H. yasumatsui* として記録
20. ヒメイトアメンボ *Hydrometra procera* (Horvath)
鳥後 (林ほか, 2015)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 日浦 勇 (1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究 I. 大阪市立自然史博物館研究報告, (20): 65-81.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・鳥前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科学博物館専報, (18): 153-161.
- 確井 徹 (2003) 鳥根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録. *Rostria*, (51): 25-26.

カタピロアメンボ科 Veliidae

隠岐諸島からは2種が記録されている。他の種も分布している可能性が高い。

21. ケシカタピロアメンボ *Microvelia douglasi* Scott
鳥後 (友国, 1985)
鳥後 (尾原, 2008)
鳥後 (林ほか, 2015)
中ノ島 (林ほか, 2015)
22. ナガレカタピロアメンボ *Pseudovelia tibialis tibialis* Esaki et Miyamoto
知夫里島 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 尾原和夫 (2008) 鳥田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56): 1-7.
- 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科学博物館専報, (18): 153-161.

アメンボ科 Gerridae

隠岐諸島からは8種が記録されている。この他、セントウミアメンボなど遠洋性種が周辺近海に生息している可能

性が高い。

23. オオアメンボ *Aquarius elongatus* (Uhler)
鳥後 (確井, 2003)
24. ナミアメンボ (アメンボ) *Aquarius paludum paludum* (Fabricius)
隠岐 (岡部, 1950) *
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (日浦, 1967)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (尾原, 1997)
鳥後 (尾原, 2006)
鳥前 (木村, 1932) *
西ノ島 (尾原, 2006)
中ノ島 (尾原, 2006)
中ノ島 (林ほか, 2015)
知夫里島 (尾原, 2006)
知夫里島 (林ほか, 2013)
知夫里島 (林ほか, 2015)
*カワグモとして記録
25. ヒメアメンボ *Gerris latiabdominis* Miyamoto
隠岐 (鳥根県, 1960)
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (日浦, 1967)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (尾原, 1999)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (木村, 1939)
西ノ島 (尾原, 2006)
中ノ島 (尾原, 2006)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (林ほか, 2013)
知夫里島 (尾原, 2006)
26. ハネナシアメンボ *Gerris nepalensis* Distant
鳥後 (尾原, 2006)
中ノ島 (尾原, 2006)
27. コセアカアメンボ *Gerris gracilicornis* (Horvath)
鳥後 (日浦, 1962)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (尾原, 2006)
鳥後 (尾原, 2008a)
鳥後 (尾原, 2008b)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (林ほか, 2015)
中ノ島 (林ほか, 2013)
28. ヤスマツアメンボ *Gerris insularis* (Motschulsky)
隠岐 (鳥根県, 1975)
鳥後 (日浦, 1962)
鳥後 (日浦, 1967)
鳥後 (友国, 1985)
鳥後 (尾原, 2008a)
29. エサキアメンボ *Limnoporus esakii* (Miyamoto)
鳥後 (鳥田, 2004)

- 鳥後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (尾原, 2006)
30. シマアメンボ *Metrocoris histrio* (White)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 鳥後 (日浦, 1967)
 鳥後 (友国, 1985)
 鳥後 (尾原, 1999)
 鳥後 (尾原, 2006)
 鳥後 (尾原, 2008a)
 鳥後 (林ほか, 2006)
 鳥後 (林ほか, 2013)
 鳥後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (尾原, 2006)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (尾原, 2006)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
- 文献
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に鳥後で採集・観察した昆虫類の目録. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 日浦 勇 (1962) コセアカアメンボ群の分布. *Rostria*, (3): 9-10.
- 日浦 勇 (1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究 I. 大阪市立自然史博物館研究報告, (20): 65-81.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 尾原和夫 (1997) 島根県の両生・水生カメムシ類. すかしば, (45): 13-16.
- 尾原和夫 (1999) 隠岐・鳥後で採集した異翅半翅類. すかしば, (47): 19-21.
- 尾原和夫 (2006) 隠岐諸島のアメンボ類. *Rostria*, (52): 61-63.
- 尾原和夫 (2008a) 島田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56): 1-7.
- 尾原和夫 (2008b) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2). すかしば, (56): 9-22.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」. 80 p. 島根県隠岐高等学校研究部.
- 島田 孝 (2004) 隠岐島後からエサキアメンボを発見. す

- かしば, (52): 19.
- 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
- 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科学博物館専報, (18): 153-161.
- 碓井 徹 (2003) 島根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録. *Rostria*, (51): 25-26.

ミズギワカメムシ科 *Saldidae*

隠岐諸島からは4種が記録されている.

31. モンシロミズギワカメムシ *Chartoscirta elegantula longicornis* (Fallen)
 鳥後 (尾原・島田, 2005)
32. タニガワミズギワカメムシ *Macrosaldula miyamotoi* Cobben
 鳥後 (友国, 1985)
 鳥後 (碓井, 2003)
 鳥後 (林ほか, 2015)
33. ウスイロミズギワカメムシ *Saldula pallipes* (Fabricius)
 鳥後 (尾原, 2008)
34. ミズギワカメムシ *Saldula saltatoria* (Linnaeus)
 鳥後 (尾原・島田, 2005)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 尾原和夫 (2008) 島田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56): 1-7.
- 尾原和夫・島田 孝 (2005) 隠岐で未記録のミズギワカメムシ2種. すかしば, (53): 27.
- 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科学博物館専報, (18): 153-161.
- 碓井 徹 (2003) 島根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録. *Rostria*, (51): 25-26.

ヘビトンボ目 *Megaloptera*

隠岐諸島からは2科3種が記録されている. 解明度は高いと思われる.

ヘビトンボ科 *Corydalidae*

隠岐諸島からは2種が記録されている. ヘビトンボの幼虫は, 鳥後および西ノ島の河川に多く生息している. タイリククロスジヘビトンボは, 島田 (2004) が鳥後から, 林ほか (2011) が西ノ島から, それぞれ初めて記録した. ヤマトクロスジヘビトンボは生息していない可能性が高い.

1. ヘビトンボ *Protohermes grandis* (Thunberg)
 隠岐 (岡部, 1950)

- 隠岐 (島根県, 1960)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 隠岐 (西村, 1966)
- 隠岐 (谷ほか, 1982)
- 鳥後 (島田, 2004)
- 鳥後 (林ほか, 2011)
- 鳥後 (林ほか, 2013)
- 鳥後 (林ほか, 2015)
- 鳥後 (林, 2014)
- 西ノ島 (木村, 1939)
- 西ノ島 (西村, 1966)
- 西ノ島 (林ほか, 2011)
- 西ノ島 (林, 2014)

2. タイリククロスジヘビトンボ *Parachauliodes continentalis* Weele

- 鳥後 (島田, 2004)
- 鳥後 (林ほか, 2011)
- 鳥後 (林ほか, 2013)
- 鳥後 (林, 2014)
- 鳥後 (林ほか, 2015)
- 西ノ島 (林, 2014)

文献

- 林 成多 (2014) 鳥根県産ヘビトンボ目の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (17): 135-145.
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 鳥根県隠岐高等学校研究部.
- 島田 孝 (2004) 隠岐島後の珍奇な脈翅類5種の記録. すかしば, (52): 14-15.
- 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・鳥根半島・三瓶山」232p. +7maps.
- 鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

センブリ科 *Sialidae*

隠岐諸島からは1種が記録されている. 本土側に多いネグロセンブリは確認されておらず, クロセンブリのみが分

布していることは興味深い.

- 3. クロセンブリ *Sialis melania* Nakahara
- 鳥後 (林, 2014)
- 西ノ島 (林, 2014)

文献

- 林 成多 (2014) 鳥根県産ヘビトンボ目の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (17): 135-145.

トビケラ目 *Trichoptera*

隠岐諸島からは20科58種が記録されているほか, 種名未決定の成虫の記録がある (門脇, 1998). 主な報告として, 西村 (1966) や谷ほか (1982) による幼虫の記録がある. 鳥根県産トビケラ目の分類学的な研究を行った Kobayashi (1987) では, 隠岐諸島から多くの種を記録し, 鳥後をタイプロカリティーとする新種も記載している. 隠岐全体の目録は, 門脇 (1990) にまとめられている. ここでは門脇 (1990) の目録を基に, 近年の分類体系に合わせて配列や和名・学名を修正し, その後の記録を追加した. このほか, 種名未決定の幼虫を西村 (1966) が4種, 谷ほか (1982) が9種記録している.

文献

- 門脇久志 (1998) 鳥根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
- Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.
- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ナガレトビケラ科 *Rhyacophilidae*

隠岐諸島からは11種が記録されている.

- 1. ヤマナカナガレトビケラ *Rhyacophila yamanakensis* Iwata
 - 鳥後 (Kobayashi, 1987)
 - 鳥後 (門脇, 1990)
 - 鳥後 (門脇, 1998) *
 - *クイエータナガレトビケラとして記録
- 2. クレメンズナガレトビケラ *Rhyacophila clemens* Tsuda
 - 鳥後 (谷ほか, 1982)
 - 鳥後 (門脇, 1990)
- 3. シコツナガレトビケラ *Rhyacophila shikotsuensis* Iwata
 - 鳥後 (門脇, 1998) *
 - 西ノ島 (林ほか, 2015)
 - **R. remingtoni* Ross として記録.
- 4. ムナグロナガレトビケラ *Rhyacophila nigrocephala* Iwata
 - 隠岐 (鳥根県, 1975)
 - 鳥後 (西村, 1966)

島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (門脇, 1990)
 島後 (林ほか, 2013)
 西ノ島 (西村, 1966)

5. ニッポンナガレトビケラ *Rhyacophila nipponica* Navas
 島後 (Kobayashi, 1987)
 島後 (門脇, 1990) *
 *ニホンナガレトビケラとして記録

6. トランスキアラナガレトビケラ *Rhyacophila transquilla* Tsuda
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (門脇, 1990) *
 *トランスキアラナガレトビケラとして記録

7. ヒロアタマナガレトビケラ *Rhyacophila brevicephala* Iwata
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (Kobayashi, 1987)
 島後 (門脇, 1990)
 西ノ島 (林ほか, 2015)

8. クラマナガレトビケラ *Rhyacophila kuramana* Tsuda
 島後 (林ほか, 2015)

9. コウノナガレトビケラ *Rhyacophila kohnoae* Ross
 島後 (Kobayashi, 1987)
 島後 (門脇, 1990) *
 *学名のみ (和名なし) で記録

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 鳥根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae

隠岐諸島からはツメナガナガレトビケラ 1種が記録されている.

10. ツメナガナガレトビケラ *Apsilochorema sutshanum* Martynov
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (Kobayashi, 1987)

島後 (門脇, 1990) *
 島後 (門脇, 1998) *
 *ナガレトビケラ科として記録

文献

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 鳥根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ヤマトビケラ科 Glossosomatidae

隠岐諸島からは 2種が記録されている.

11. イノブスヤマトビケラ *Glossosoma ussuricum* (Martynov)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (Kobayashi, 1987)
 島後 (門脇, 1990)
 島後 (林ほか, 2015)
12. コマコヤマトビケラ *Agapetus komanus* (Tsuda)
 島後 (林ほか, 2015)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae

隠岐諸島からはヒゲナガカワトビケラ 1種が記録されている.

13. ヒゲナガカワトビケラ *Stenopsyche marmorata* Navás
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 島後 (西村, 1966)
 島後 (谷ほか, 1982) *
 島後 (Kobayashi, 1987)
 島後 (門脇, 1990)
 島後 (林ほか, 2015)
 *ニッポンヒゲナガカワトビケラとして記録

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. す

かしば, (33): 13-18.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28 (1): 26-29.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

カワトビケラ科 Philopotamidae

隠岐諸島からは5種が記録されている.

14. ツダコタニガワトビケラ *Chimarra tsudai* Ross
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990) *
*学名のみ(和名なし)で記録
15. キソタニガワカワゲラ *Dolophilodes kisoensis* (Tsuda)
島後 (門脇, 1998)
16. ニイタカカワトビケラ *Dolophilodes niitakaensis* (Kobayashi)
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990)
17. ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* (Kobayashi)
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990) *
*ノムギカワトビケラとして記録
18. コマナタニガワトビケラ *Dolophilodes commatus* (Kobayashi)
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990) *
*コマナガトビケラとして記録

文献

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

クダトビケラ科 Psychomyiidae

隠岐諸島からは2種が記録されている.

19. ヒガシヤマクダトビケラ *Tinodes higashiyamana* Tsuda
島後 (林ほか, 2013)
20. モリシタクダトビケラ *Psychomyia morisitai* Tsuda
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012

年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

ムネカクトビケラ科 Ecnomidae

隠岐諸島からはムネカクトビケラ1種が記録されている.

21. ムネカクトビケラ *Ecnomus tenellus* Rambur
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (門脇, 1990) *
*オオミムネカクトビケラとして記録

文献

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

イワトビケラ科 Polycentropodidae

隠岐諸島からは5種が記録されている. オキミヤマイワトビケラは, 島後をタイプロカリティーとして記載された種である.

22. オキミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia okiensis* Kobayashi
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990) *
島後 (Ohkawa and Ito, 2007)
*オキイワトビケラとして記録
23. トチモトミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia tochimotoi* Schmid
島後 (林ほか, 2013)
24. ナガヤマミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia nagayamai* Schmid
島後 (林ほか, 2015)
25. キソイワトビケラ *Nyctiophylax kisoensis* (Tsuda)
島後 (林ほか, 2015)
26. カドワキタニガワトビケラ *Nyctiophylax kadowakii* (Kobayashi)
島後 (Kobayashi, 1987) *
島後 (門脇, 1990) *
*学名のみ(和名なし)で記録

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shi-

mane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

Ohkawa, A. and T. Ito (2007) The genus *Stephens* of Japan (Trichoptera; Polycentropodidae). *Limnology*, **8**: 183-210.

シマトビケラ科 Hydropsychidae

隠岐諸島からは4種が記録されている。

27. コガタシマトビケラ *Cheumatopsyche brevilineata* (Iwata)

- 隠岐 (島根県, 1975)
- 島後 (西村, 1966)
- 島後 (谷ほか, 1982)
- 島後 (Kobayashi, 1987)
- 島後 (門脇, 1990)
- 島後 (門脇, 1998)
- 島後 (河瀬・林, 2012)
- 西ノ島 (西村, 1966)

28. ナミコガタシマトビケラ *Cheumatopsyche infascia* Martynov

- 島後 (林ほか, 2015)
- 西ノ島 (林ほか, 2015)

29. ガロアシマトビケラ *Cheumatopsyche gallosi* (Matsumura)

- 島後 (Kobayashi, 1987)
- 島後 (門脇, 1990)
- 島後 (林ほか, 2015)

30. ウルマーシマトビケラ *Hydropsyche orientalis* Martynov

- 隠岐 (島根県, 1975)
- 島後 (西村, 1966)
- 島後 (谷ほか, 1982)
- 島後 (Kobayashi, 1987)
- 島後 (門脇, 1990)
- 島後 (門脇, 1998)
- 島後 (河瀬・林, 2012)
- 島後 (林ほか, 2013)
- 島後 (林ほか, 2015)
- 西ノ島 (西村, 1966)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ。すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類。すかしば, (46): 1-12.

河瀬直幹・林 成多 (2012) 2009-2011年に島根県で採集

したトビケラ成虫の記録。ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 253-258.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記。採集と飼育, **28** (1): 26-29.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫。隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

マルバネトビケラ科 Phryganopsychidae

隠岐諸島からはマルバネトビケラ1種が記録されている。

31. マルバネトビケラ *Phryganopsyche latipennis* (Banks)

- 島後 (谷ほか, 1982)
- 島後 (門脇, 1990)

文献

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ。すかしば, (33): 13-18.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫。すかしば, (16): 29-41.

トビケラ科 Phryganeidae

隠岐諸島からは2種が記録されている。

32. オオムラサキトビケラ *Eubasilissa mperialis* (Nakahara)

- 隠岐 (島根県, 1960) *
- 隠岐 (島根県, 1975) *
- 島後 (Kobayashi, 1987) *
- 島後 (門脇, 1990) *
- 島後 (門脇, 1998) *
- 島後 (林ほか, 2013)
- 島前 (木村, 1932) *
- 西ノ島 (木村, 1939) *
- *ムラサキトビケラとして記録

33. ツマグロトビケラ *Phryganea japonica* McLachlan

- 隠岐 (島根県, 1960)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 島後 (Kobayashi, 1987)
- 島後 (門脇, 1990)
- 西ノ島 (木村, 1939)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ。すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類。すかしば, (46): 1-12.

木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布。「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理学会, 海士.

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p. (自刊)

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

カクスイトビケラ科 Brachycentridae

隠岐諸島からはハナセマルツツトビケラ 1 種が記録されている.

34. ハナセマルツツトビケラ *Micrasema hanasense* Tsuda
西ノ島 (林ほか, 2015)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

カクツツトビケラ科 Leoidostomatidae

隠岐諸島からは 4 種が記録されている.

35. コカクツツトビケラ *Lepidostoma japonicum* (Tsuda)

島後 (谷ほか, 1982)
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990)

36. ヒロオカクツツトビケラ *Lepidostoma bipertitum* (Kobayashi)

島後 (谷ほか, 1982)
島後 (門脇, 1990)
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)

37. ツダカクツツトビケラ *Lepidostoma tsudai* (Tani)
島後 (林ほか, 2013)

38. オオカクツツトビケラ *Lepidostoma crassicorne* (Ulmer)

島後 (谷ほか, 1982)
島後 (門脇, 1990)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012 年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shi-

mane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

エグリトビケラ科 Limnephilidae

隠岐諸島からは 5 種が記録されている.

39. ホタルトビケラ *Nothopsyche ruficollis* (Ulmer)
西ノ島 (林ほか, 2015)
知夫里島 (林ほか, 2015)

40. アムールトビケラ *Asynarchus amurensis* (Ulmer)
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (門脇, 1990)
島後 (門脇, 1998) *
*アムールエグリトビケラとして記録

41. トウヨウウスバキトビケラ *Limnephilus orientalis* (Martynov)
中ノ島 (林ほか, 2013)

42. ウスバキトビケラ *Limnephilus correptus* McLachlan
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990)
島後 (門脇, 1998)

一. ツミギトビケラ *Limnephilus politus* McLachlan
島後 (谷ほか, 1982)

島後 (門脇, 1990) *
*キリバナトビケラ属 *Limnephilus* sp. IA とされている (野崎, 2005)

43. スジトビケラ *Nemotaulius brevilinea* (McLachlan)
隠岐 (岡部, 1950)
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (Kobayashi, 1987)
島後 (門脇, 1990)
中ノ島 (Kobayashi, 1987)
中ノ島 (門脇, 1990)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012 年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫 14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.

門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.

Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

野崎隆夫 (2005) エグリトビケラ科. 川合禎次・谷田一三編「日本産水生昆虫 科・属・種への検索」: 157-528. 東海大学出版会, 秦野.

- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑組」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

コエグリトビケラ科 Apataniidae

隠岐諸島からはヒラタコエグリトビケラ1種の記録(幼虫)がある.

44. ヒラタコエグリトビケラ *Apatania aberrans* (Martynov)

鳥後 (谷ほか, 1982)

鳥後 (門脇, 1990) *

*コエグリトビケラとして記録

文献

- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ニンギョウトビケラ科 Goeridae

隠岐諸島からは2種の記録がある. キョウトニンギョウトビケラは幼虫の記録のみである.

45. ニンギョウトビケラ *Goera japonica* Banks

隠岐 (島根県, 1975)

鳥後 (谷ほか, 1982)

鳥後 (Kobayashi, 1987)

鳥後 (門脇, 1990)

鳥後 (門脇, 1998)

鳥後 (河瀬・林, 2012)

鳥後 (林ほか, 2013)

鳥後 (林ほか, 2015)

西ノ島 (西村, 1966)

中ノ島 (林ほか, 2013)

46. キョウトニンギョウトビケラ *Goera kyotonis* Tsuda

鳥後 (谷ほか, 1982)

鳥後 (門脇, 1990)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
 門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類. すかしば, (46): 1-12.
 河瀬直幹・林 成多 (2012) 2009-2011年に島根県で採集したトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究

報告, (15): 253-258.

- Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.

- 西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28(1): 26-29.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae

隠岐諸島からは9種の記録がある. モリクサツミトビケラは希少種であり, 現在の生息状況を把握する必要がある.

47. トウヨウクサツミトビケラ *Oecetis tsudai* Fischer

鳥後 (Kobayashi, 1987)

鳥後 (門脇, 1990) *

鳥後 (林ほか, 2013)

鳥後 (林ほか, 2015)

*トオヨウヒゲナガトビケラとして記録

48. ゴマダラヒゲナガトビケラ *Oecetis nigropunctata* Ulmer

鳥後 (林ほか, 2015)

49. モリクサツミトビケラ *Oecetis morii* Tsuda

鳥後 (谷ほか, 1982)

鳥後 (門脇, 1990)

50. ハモチクサツミトビケラ *Oecetis hamochiensis* Kobayashi

鳥後 (河瀬・林, 2012)

鳥後 (林ほか, 2015)

51. シラセトトビケラ *Setodes shirasensis* Kobayashi

鳥後 (林ほか, 2015)

52. ヤマトセンカイトビケラ *Triaenodes unanimitis* McLachlan

鳥後 (林ほか, 2015)

53. アオヒゲナガトビケラ *Mystacidis azurea* (Linnaeus)

鳥後 (Kobayashi, 1987)

鳥後 (門脇, 1990)

鳥後 (林ほか, 2013)

鳥後 (林ほか, 2015)

54. カモヒゲナガトビケラ *Ceraclea kamonis* (Tsuda)

鳥後 (Kobayashi, 1987)

鳥後 (門脇, 1990)

55. ナガツノヒゲナガトビケラ *Ceraclea complicata* (Kobayashi)

鳥後 (林ほか, 2013)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
- 河瀬直幹・林 成多 (2012) 2009-2011年に鳥根県で採集したトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 253-258.
- Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). *Bull. Kanagawa Pref. Mus.*, (17): 13-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ホソバトビケラ科 Molannidae

隠岐諸島からホソバトビケラ1種の記録がある.

56. ホソバトビケラ *Molanna moesta* Banks
 鳥後 (谷ほか, 1982)
 鳥後 (門脇, 1990)
 鳥後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

アシエダトビケラ科 Calamoceratidae

隠岐諸島からコバントビケラ1種の記録がある. 近縁種のウスイロコバントビケラは確認されていないが, 生息している可能性がある.

57. コバントビケラ *Anisocentropus kawamura* (Iwata)
 鳥後 (林ほか, 2013)

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

ケトビケラ科 Sericostomatidae

隠岐諸島から *Gumaga orientalis* 1種の記録がある.

58. (和名なし) *Gumaga orientalis* (Martynov) ※
 鳥後 (谷ほか, 1982) *
 鳥後 (門脇, 1990) *
 鳥後 (林ほか, 2015)
 *グマガトビケラとして記録
 ※*G. orientalis* は, 沖縄産のグマガトビケラ *G. okinawaensis* Tsuda とは別種として扱われている (Nozaki and Tanida, 2007).

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33): 13-18.
- Nozaki, T. and Tanida, K. (2007) The caddisfly fauna of a huge spring-fed stream, the Kakida River, in central Japan. In Bueno-Soria, J., Barba-Álvarez, R. and Armitage, B. (Eds.) *Proceedings of the XIIth International Symposium on Trichoptera*: 243-255. The Caddis Press, Columbus, Ohio.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

チョウ目 Lepidoptera

鱗翅類の大多数は陸生種であるが, 一部の種が水生植物に依存する. この中でミズメイガ類の幼虫は, 浮葉植物を寄主とし, 腹部に気管鰓を持ち水中生活に適応している.

ツトガ科 Crambidae

ミズメイガ亜科の種のみを掲載した. 隠岐諸島からは3種の記録がある.

- マダラミズメイガ *Elophila interruptalis* (Pryer)
 鳥後 (三島・大浜, 2009)
 西ノ島 (三島・大浜, 2009)
- ヒメマダラミズメイガ *Elophila turbata* (Butler)
 鳥後 (三島・大浜, 2009)
 西ノ島 (三島・大浜, 2009)
- ゼニガサミズメイガ *Paracymoriza prodigalis* (Leech)
 鳥後 (門脇・岸田, 1977)
 西ノ島 (林ほか, 2012)

文献

- 林 成多・松田隆嗣・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2012) 隠岐諸島における昆虫類分布調査II. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 287-297.
- 門脇久志・岸田泰則 (1977) 隠岐島の蛾 (II). 蛾類通信, (91): 506-513.
- 三島秀夫・大浜祥治 (2009) 隠岐諸島の蛾類 (1). すかしば, (57): 45-104.

コウチュウ目 Coleoptera

隠岐諸島からは15科83種が記録されている. 林・門脇 (2012) による隠岐諸島産の甲虫類目録から水生種を抜き出し, その後の記録を加えて整理した.

文献

- 林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫類目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5): 1-120.

コガシラミズムシ科 Haliplidae

隠岐諸島からは6種が記録されている。林・門脇 (2012) 以降、キイロコガシラミズムシが確認された。

1. コガシラミズムシ *Peltodytes intermedius* (Sharp)
 - 隠岐 (岡部, 1950)
 - 隠岐 (島根県, 1975)
 - 隠岐 (門脇, 1983)
 - 島後 (島田ほか, 2005)
 - 島後 (林ほか, 2006)
 - 島後 (小早川・大浜, 2007)
 - 島後 (林ほか, 2015)
 - 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 - 中ノ島 (林ほか, 2015)
2. クビボソコガシラミズムシ *Haliplus japonicus* Sharp
 - 島後 (島田ほか, 2005)
3. ヒメコガシラミズムシ *Haliplus ovalis* Sharp
 - 島後 (島田ほか, 2005)
 - 島後 (林, 2007)
4. マダラコガシラミズムシ *Haliplus sharpi* Wehncke
 - 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
5. クロホシコガシラミズムシ *Haliplus basinotatus* Zimmermann
 - 島後 (島田ほか, 2005)
 - 島後 (林ほか, 2006)
 - 島後 (林, 2007)
6. キイロコガシラミズムシ *Haliplus eximius* Clark
 - 島後 (林ほか, 2015)

文献

- 林 成多 (2007) 島根県産水生甲虫類の分布と生態. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 77-113.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53): 41-48.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

隠岐諸島からはコツブゲンゴロウ1種が記録されている。

7. コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* Sharp
 - 島後 (島田ほか, 2005)

- 島後 (林ほか, 2006)
- 島後 (林ほか, 2013)
- 島後 (林ほか, 2015)
- 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
- 中ノ島 (林ほか, 2015)
- 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)

文献

- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53): 41-48.

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

隠岐諸島からは24種が記録されている。隠岐諸島産甲虫類の中でもっとも解明度の高いグループである。岡部 (1950) が記録したスジゲンゴロウは、その後、再確認されていない。林・門脇 (2012) 以降、マルチビゲンゴロウとアンピンチビゲンゴロウが記録された。

8. キボシケシゲンゴロウ *Allopathria flavomaculatus* (Kamiya)
 - 島後 (林ほか, 2006)
 - 島後 (藤原・沼田, 2009)
 - 島後 (初宿, 2011)
 - 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 - 西ノ島 (大浜, 2008)
9. ケシゲンゴロウ *Hyphydrus japonicus* Sharp
 - 隠岐 (門脇, 1983)
 - 島後 (門脇, 2001)
 - 島後 (島田ほか, 2005)
 - 西ノ島 (林ほか, 2015)
 - 中ノ島 (島田ほか, 2005)
 - 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 - 中ノ島 (林ほか, 2015)
10. コマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus acuminatus* Motschulsky
 - 島後 (島田ほか, 2005)
 - 島後 (林ほか, 2015)
11. チャイロチビゲンゴロウ *Liodesus megacephalus* (Gschwendtner)
 - 島後 (林・島田, 2005)
 - 島後 (林ほか, 2006)

- 鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
12. チビゲンゴロウ *Hydroglyphus japonicus* (Sharp)
隠岐 (門脇, 1983)
鳥後 (門脇, 2001)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2006)
鳥後 (小早川・大浜, 2007)
鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
13. アンピンチビゲンゴロウ *Hydroglyphus flammulatus* (Sharp)
鳥後 (林ほか, 2015)
14. マルチビゲンゴロウ *Leiodytes frontalis* (Sharp)
鳥後 (林ほか, 2013)
15. ツブゲンゴロウ *Laccophilus difficilis* Sharp
隠岐 (島根県, 1975)
隠岐 (門脇, 1983)
鳥後 (神谷・山本, 1934)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (鳥田ほか, 2005)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (林ほか, 2013)
西ノ島 (林ほか, 2015)
中ノ島 (鳥田ほか, 2005)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (林ほか, 2015)
16. コウベツブゲンゴロウ *Laccophilus kobensis* Sharp
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
中ノ島 (鳥田ほか, 2005)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
17. ホソセスジゲンゴロウ *Copelatus weymarni* Balfour-Browne
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2015)
18. モンキマメゲンゴロウ *Platambus pictipennis* (Sharp)
隠岐 (島根県, 1960)
隠岐 (島根県, 1975)
隠岐 (門脇, 1983)
鳥後 (谷ほか, 1982)
鳥後 (浅岡, 1998)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2006)
鳥後 (藤原・沼田, 2009)
鳥後 (小早川・大浜, 2007)
鳥後 (林ほか, 2011)
鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (木村, 1939)
- 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (藤原・沼田, 2009)
西ノ島 (林ほか, 2011)
西ノ島 (林ほか, 2015)
19. サワダマメゲンゴロウ *Platambus sawadai* (Kamiya)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2006)
鳥後 (藤原・沼田, 2009)
鳥後 (初宿, 2011)
鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (大浜, 2008)
西ノ島 (藤原・沼田, 2009)
20. クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus* Sharp
隠岐 (江崎ほか, 1939)
隠岐 (岡部, 1950)
隠岐 (島根県, 1975)
隠岐 (門脇, 1983)
鳥後 (神谷・山本, 1934)
鳥後 (門脇, 2001)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2006)
鳥後 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (鳥田ほか, 2005)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (大浜, 2001)
中ノ島 (鳥田ほか, 2005)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (林ほか, 2013)
中ノ島 (林ほか, 2015)
21. チャイロマメゲンゴロウ *Agabus regimbarti* Zaizev
西ノ島 (林ほか, 2013)
西ノ島 (林ほか, 2015)
中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
中ノ島 (林ほか, 2015)
22. マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* Sharp
隠岐 (島根県, 1975)
隠岐 (門脇, 1983)
鳥後 (神谷・山本, 1934)
鳥後 (門脇, 2001)
鳥後 (大浜, 2001)
鳥後 (鳥田ほか, 2005)
鳥後 (林ほか, 2006)
鳥後 (小早川・大浜, 2007)
鳥後 (林ほか, 2013)
鳥後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (大浜, 2001)
西ノ島 (鳥田ほか, 2005)
西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
西ノ島 (林ほか, 2013)
西ノ島 (林ほか, 2015)

- 中ノ島 (大浜, 2001)
 中ノ島 (島田ほか, 2005)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 知夫里島 (藤原・沼田, 2009)
23. キベリクロヒメゲンゴロウ *Ilybius apicalis* Sharp
 隠岐 (岡部, 1931) *
 隠岐 (岡部, 1950) *
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (神谷・山本, 1934) *
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (島田ほか, 2005)
 島後 (小早川・大浜, 2007)
 島後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 * スナムグリゲンゴロウとして記録
24. ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (Macleay)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (門脇, 2001)
 島後 (大浜, 2001)
 島後 (島田ほか, 2005)
 島後 (小早川・大浜, 2007)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (大浜, 2001)
 西ノ島 (島田ほか, 2005)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (大浜, 2001)
 中ノ島 (島田ほか, 2005)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 知夫里島 (大浜, 2001)
 知夫里島 (島田ほか, 2005)
25. ハイイロゲンゴロウ *Eretes sticticus* (Linnaeus)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (浅岡, 1998)
 島後 (島田ほか, 2005)
 島後 (小早川・大浜, 2007)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (島田ほか, 2005)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 知夫里島 (大浜, 2001)
 知夫里島 (島田ほか, 2005)
26. シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringii* Clark
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (島田ほか, 2005)
 西ノ島 (木村, 1939)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
27. スジゲンゴロウ *Hydaticus satoi* Wewalka※
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 ※記録は岡部のみで、島根県 (1975) や門脇 (1983) はその引用である。
28. コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (Germer)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (大浜, 2001)
 島後 (門脇, 2001)
 島後 (島田ほか, 2005)
 西ノ島 (島田ほか, 2005)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (島田ほか, 2005)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 知夫里島 (島田ほか, 2005)
29. マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (Clark)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (神谷・山本, 1934)
30. コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* (Fabricius)
 隠岐 (江崎ほか, 1939)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (神谷・山本, 1934)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 知夫里島 (島田ほか, 2005)
31. ゲンゴロウ *Cybister japonicus* Sharp※
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (神谷・山本, 1934)
 西ノ島 (木村, 1939)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
 ※近年の記録がまったくなく、絶滅した可能性が高いとしていた (林・門脇, 2012) が、2013年に西ノ島で死体が確認され、現存の個体群がいる可能性がある (林ほか, 2015)。

文献

- 浅岡孝知 (1998) 隠岐島 (島後・西ノ島) の昆虫 (7月). 虫譜, 36(2): 25-28.
- 江崎悌三・堀 浩・安松京三 (1939) 「原色日本昆蟲図説」. 三省堂.
- 藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 259-272.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫類目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5): 1-120.
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 林 成多・島田 孝 (2005) 隠岐島後でチャイロチビゲンゴロウを採集. すかしば, (53): 48.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
- 門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.
- 神谷一男・山本 玄 (1934) 隠岐島の昆虫相第一報 甲虫類 (1). 関西昆蟲學會會報, (5): 32-41.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻 「隠岐雑俎」 80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
- 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49): 26-27.
- 大浜祥治 (2008) 島前自然観察記-昆虫を中心として-. 隠岐の文化財, (25): 31-40.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53): 41-48.
- 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」 232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 初宿成彦 (編) (2011) 「大阪市立自然史博物館所蔵甲虫目録 (1) ゲンゴロウ科・ゴミムシダマシ科・ナガクチキムシ科」. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ミズスマシ科 Gyrinidae

隠岐諸島からは4種が記録されている. 神谷・山本 (1934) が記録したミズスマシの学名には, *Gyrinus curtus* Motschulsky (コミズスマシの学名) が使用されている. 江崎ほか (1938) 以降, これはコミズスマシの記録として解釈され, 現在に至っている. 従って, 神谷・山本 (1934) が記録した種がミズスマシ *Gyrinus japonicus* Sharp に相当する場合には, 隠岐産ミズスマシ科は3種になる.

32. オオミズスマシ *Dineutus orientalis* (Modeer)
- | | |
|-----|----------------|
| 隠岐 | (島根県, 1960) |
| 隠岐 | (島根県, 1975) |
| 隠岐 | (門脇, 1983) |
| 島後 | (谷ほか, 1982) |
| 島後 | (島田ほか, 2005) |
| 島後 | (小早川・大浜, 2007) |
| 島後 | (林ほか, 2013) |
| 島後 | (林ほか, 2015) |
| 西ノ島 | (木村, 1939) |
| 西ノ島 | (大浜, 2001) |
| 西ノ島 | (島田ほか, 2005) |
| 西ノ島 | (藤原・沼田, 2009) |
| 中ノ島 | (小早川・大浜, 2007) |
| 島後 | (林ほか, 2015) |
33. オナガミズスマシ *Orectochilus regimbarti regimbarti* Sharp
- | | |
|----|---------------|
| 島後 | (浅岡, 1998) |
| 島後 | (島田ほか, 2005) |
| 島後 | (林ほか, 2006) |
| 島後 | (藤原・沼田, 2009) |
34. ミズスマシ *Gyrinus japonicus* Sharp
- | | |
|------|----------------|
| 隠岐 | (岡部, 1950) * |
| 隠岐 | (門脇, 1983) |
| 島後 | (谷ほか, 1982) |
| 島後 | (島田ほか, 2005) |
| 島後 | (林ほか, 2006) |
| 島後 | (小早川・大浜, 2007) |
| 島後 | (藤原・沼田, 2009) |
| 島後 | (林ほか, 2013) |
| 西ノ島 | (小早川・大浜, 2007) |
| 西ノ島 | (藤原・沼田, 2009) |
| 西ノ島 | (林ほか, 2015) |
| 中ノ島 | (林ほか, 2015) |
| 知夫里島 | (島田ほか, 2005) |
- * ミズスマシの方言アライとして記録
35. コミズスマシ *Gyrinus curtus* Motschulsky
- | | |
|----|-----------------|
| 島後 | (神谷・山本, 1934) * |
| 隠岐 | (江崎ほか, 1939) |
| 隠岐 | (島根県, 1975) |

- 隠岐 (門脇, 1983)
 *ミズスマシとして (学名はコミズスマシ *Gyrinus curtus* を使用)
- 文献
 浅岡孝知 (1998) 隠岐島 (島後・西ノ島) の昆虫 (7月). 虫譜, 36(2): 25-28.
 江崎佛三・堀 浩・安松京三 (1939) 「原色日本昆虫図説」. 三省堂.
 藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 259-272.
 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
 神谷一男・山本 玄 (1934) 隠岐島の昆虫相第一報 甲虫類 (1). 關西昆虫學會會報, (5): 32-41.
 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53): 41-48.
 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49): 26-27.
 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.
- ガムシ科 Hydropphilidae**
 ガムシ科には陸生と水生の種がいるが, 隠岐諸島からは水生の16種が記録されている. このほか, ツヤヒラタガムシ属の未記載種が確認されているため, 実際に生息する種は17種である. 林・門脇 (2012) 以降, セマルガムシとヒメセマルガムシが確認された.
36. セマルガムシ *Coelostma stultum* (Walker)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
37. ヒメセマルガムシ *Coelostma orbiculare* (Fabricius)
- 島後 (林ほか, 2015)
38. マルガムシ *Hydrocassia lacustris* (Sharp)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (谷ほか, 1982)
 島後 (藤原・沼田, 2009)
 島後 (林ほか, 2013)
39. ツヤヒラタガムシ *Agraphydrus narusei* (M. Sato) ※
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (林ほか, 2015)
 ※近縁な未記載種がもう1種分布している.
40. コモンシジミガムシ *Laccobius oscillans* Sharp
 島後 (林, 2006)
 島後 (藤原・沼田, 2009)
 島後 (林ほか, 2013)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
41. スジヒラタガムシ *Helochares nipponicus* Hebauer
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
42. キイロヒラタガムシ *Enochrus simulans* (Sharp)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (門脇, 2001)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (林ほか, 2013)
 島後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
43. キベリヒラタガムシ *Enochrus japonicus* (Sharp)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (林ほか, 2006)
 中ノ島 (大浜, 2001)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
44. ガムシ *Hydrophilus acuminatus* (Motschulsky)
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (江崎ほか, 1939) *
 隠岐 (島根県, 1960)
 隠岐 (島根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (大浜, 2001)
 島後 (島田, 2004)
 島前 (神谷・山本, 1934)
 西ノ島 (木村, 1939)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
 *オホガムシとして記録
45. コガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp)
 島後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (林ほか, 2015)

- 知夫里島 (小早川・大浜, 2007)
46. ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius)
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (門脇, 2001)
 島後 (大浜, 2001)
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (林ほか, 2013)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
47. タマガムシ *Amphiops mater* Sharp
 島後 (林, 2007)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
48. ゴマフガムシ *Berosus punctipennis* (Harold)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)
49. ヤマトゴマフガムシ *Berosus japonicus* Sharp
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (小早川・大浜, 2007)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (小早川・大浜, 2007)
 中ノ島 (大浜, 2001)
50. トゲバゴマフガムシ *Berosus lewisius* Sharp
 隠岐 (門脇, 1983)
 島後 (門脇, 2001)
 島後 (小早川・大浜, 2007)
 島後 (林ほか, 2015)
 西ノ島 (林ほか, 2015)
51. オオトゲバゴマフガムシ *Berosus incretus* Orchymont
 島後 (蓑島・林, 投稿中)

文献

- 江崎悌三・堀 浩・安松京三 (1939)「原色日本昆蟲図説」三省堂.
- 藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 259-272.
- 林 成多 (2006) シジミガムシ属について. すかしば, (54): 67-69.
- 林 成多 (2007) 島根県産水生甲虫類の分布と生態. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 77-113.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫類目録 (1930

- 2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5): 1-120.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
- 門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.
- 神谷一男・山本 玄 (1934) 隠岐島の昆虫相第一報 甲虫類 (1). 関西昆蟲學會會報, (5): 32-41.
- 木村康信 (1939)「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.
- 蓑島悠介・林 成多 (投稿中) オオトゲバゴマフガムシの島根県・岡山県からの記録. さやばねニューシリーズ. 大浜祥治 (2001) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49): 26-27.
- 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430): 10-15.
- 島田 孝 (2004) 隠岐自然館甲虫標本目録. すかしば, (52): 33-40.
- 島根県 (1960)「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ダルマガムシ科 Hydraenidae

- 隠岐諸島からはミヤタケダルマガムシ 1種が記録されている. 流水性のダルマガムシ属やセスジダルマガムシ属は未発見である. 2015年に中ノ島でミヤタケダルマガムシが確認されている (林ほか, 未公表).
52. ミヤタケダルマガムシ *Hydraena miyatakei* M. Sato
 島後 (林ほか, 2006)
 島後 (林ほか, 2015)
 中ノ島 (林ほか, 未公表)

文献

- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

マルハナノミ科 Scirtidae

隠岐諸島からは8種が記録されている。林・門脇 (2012)以降、ホソキマルハナノミとケシマルハナノミ、ヒメチビマルハナノミが確認された。このほか隠岐固有種の可能性のある未記載種が確認されている。隠岐諸島産の *Cyphon* 属3種は *Contacyphon* 属に変更されている (吉富, 2015)。

53. ホソキマルハナノミ *Elodes elegans* Yoshitomi
島後 (林ほか, 2013)
54. ヒメキムネマルハナノミ *Sacodes minima* (Klausnitzer)
島後 (林・島田, 2007)
西ノ島 (林ほか, 2013)
55. コキムネマルハナノミ *Sacodes nakanei* (Klausnitzer)
西ノ島 (林ほか, 2015)
中ノ島 (林ほか, 2011)
56. トビイロマルハナノミ *Scirtes japonicus* Kiesenwetter
島後 (林・島田, 2007)
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)
知夫里島 (林ほか, 2011)
57. ケシマルハナノミ *Hydrocyphon satoi* Yoshitomi
島後 (林ほか, 2015)
58. ニッポンチビマルハナノミ *Contacyphon nipponicus* (Yoshitomi)
島後 (林・島田, 2007)
59. チャイロチビマルハナノミ *Contacyphon consobrinus* (Nyholm)
島後 (林・島田, 2007)
60. ヒメチビマルハナノミ *Contacyphon puncticeps* (Kiesenwetter)
島後 (林ほか, 2013)

文献

林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査。ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

林 成多・島田 孝 (2007) 隠岐島後におけるマルハナノミ科の記録。ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 143-147.

吉富博之 (2015) チビマルハナノミ属 *Cyphon* の解体。さやばねニューシリーズ, (17): 8-10.

ヒラタドロムシ科 Psephenidae

隠岐諸島からは6種が記録されている。林・門脇 (2012)以降、チビヒゲナガハナノミとマルチビヒゲナガハナノミが島前から確認された。

61. ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus japonicus* (Matsumura)
隠岐 (島根県, 1975)
隠岐 (門脇, 1983)
島後 (西村, 1966)
島後 (谷ほか, 1982)
島後 (浅岡, 1998)
島後 (門脇, 2001)
島後 (林ほか, 2006)
島後 (林ほか, 2011)
島後 (林ほか, 2015)
62. マルヒラタドロムシ *Eubrianax ramicornis* Kiesenwetter
隠岐 (門脇, 1983) *
島後 (林, 2009)
*ヒラタヒゲナガハナノミとして記録
63. クシヒゲマルヒラタドロムシ *Eubrianax granicollis* Lewis
島後 (谷ほか, 1982) *
島後 (林, 2009)
*クシヒゲナガハナノミとして幼虫を記録
64. マルヒゲナガハナノミ *Schinostethus brevis* (Lewis)
島後 (林ほか, 2013)
島後 (林ほか, 2015)
西ノ島 (林, 2009)
西ノ島 (林ほか, 2015)
65. チビマルヒゲナガハナノミ *Macroebria lewisi* Nakane
島後 (林ほか, 2011)
島後 (林ほか, 2013)
西ノ島 (林ほか, 2015)
66. チビヒゲナガハナノミ *Ectopria opaca opaca* (Kiesenwetter)
島後 (福井, 1988)
隠岐 (林, 2009)
西ノ島 (林ほか, 2013)

文献

浅岡孝知 (1998) 隠岐島 (島後・西ノ島) の昆虫 (7月)。虫譜, 36(2): 25-28.

福井修二 (1988) 隠岐諸島甲虫採集リスト (1988.6)。すかしば, (30): 39-41.

林 成多 (2009) 日本産ヒラタドロムシ科概説。ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 35-85.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ)。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV。ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-

ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.

林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.

門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.

門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.

西村 登 (1966) 隠岐島の溪流昆虫小記. 採集と飼育, 28(1): 26-29.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ナガドロムシ科 *Heteroceridae*

隠岐諸島からはタテスジナガドロムシ 1 種が記録されている. 林・門脇 (2012) の時点では科としての記録がなかった.

67. タテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus* Thunberg
鳥後 (林ほか, 2013)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

ドロムシ科 *Dryopidae*

隠岐諸島からはムナビロツヤドロムシ 1 種が記録されている.

68. ムナビロツヤドロムシ *Elmormorphus brevicornis* Sharp
鳥後 (林・島田, 2006)
鳥後 (藤原・沼田, 2009)
鳥後 (林ほか, 2011)

文献

藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 259-272.

林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.

林 成多・島田 孝 (2006) 島根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 127-143.

ヒメドロムシ科 *Elmidae*

隠岐諸島からは 8 種が記録されている. マルヒメツヤドロムシとして記録されていた種は未記載種であることが判明し, 中ノ島をタイプロカリティーとしてサンインヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria sotai* が新種記載された (Hayashi and Yoshitomi, 2015). 隠岐諸島の固有種ではなく, 島根県

本土や鳥取県でも確認されている.

69. ゴトウミゾドロムシ *Ordobrevia gotoi* Nomura
鳥後 (林・島田, 2006)

70. アカモンミゾドロムシ *Ordobrevia maculata* (Nomura)

鳥後 (林・島田, 2006)

鳥後 (藤原・沼田, 2009)

鳥後 (林ほか, 2013)

西ノ島 (林・島田, 2006)

71. キスジミゾドロムシ *Ordobrevia foveicollis* (Schonfeldt)

隠岐 (門脇, 1983)

鳥後 (門脇, 2001)

鳥後 (林・島田, 2006)

鳥後 (林ほか, 2011)

72. ツヤヒメドロムシ *Optioservus nitidus* Nomura

鳥後 (林・島田, 2006)

鳥後 (藤原・沼田, 2009)

鳥後 (林ほか, 2015)

73. ハガマルヒメドロムシ *Optioservus hagai* Nomura

鳥後 (藤原・沼田, 2009)

74. ツヤナガアシドロムシ *Grouvellinus nitidus* Nomura

鳥後 (林・島田, 2006)

鳥後 (藤原・沼田, 2009)

鳥後 (林ほか, 2015)

西ノ島 (小早川・大浜, 2007)

西ノ島 (林ほか, 2015)

75. ホソヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria gotoi* (Nomura)

鳥後 (林・島田, 2006)

鳥後 (藤原・沼田, 2009)

鳥後 (林ほか, 2011)

西ノ島 (林・島田, 2006)

76. サンインヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria sotai* Hayashi et Yoshitomi

鳥後 (藤原・沼田, 2009) *

鳥後 (Hayashi and Yoshitomi, 2015)

西ノ島 (林ほか, 2013) **

西ノ島 (林ほか, 2015) **

西ノ島 (Hayashi and Yoshitomi, 2015)

中ノ島 (Hayashi and Yoshitomi, 2015)

知夫里島 (林ほか, 2011) **

知夫里島 (Hayashi and Yoshitomi, 2015)

* ヒメツヤドロムシ属の一種 *Zaitzeviaria* sp. として記録

** マルヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria ovata* として記録

文献

藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 259-272.

林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財

- 団研究報告, (14): 299-306.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.
- 林 成多・島田 孝 (2006) 島根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 127-143.
- Hayashi, M. and H. Yoshitomi (2015) Endophallic structure of the genus *Zaitzeviaria* Nomura (Coleoptera, Elmidae, Elminae), with review of Japanese species. *Elytra, Tokyo, New Series*, 5(1): 67-96.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
- 門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55): 51-54.

ホタル科 Lampyridae

隠岐諸島からは2種が記録されている。陸生種ではオバボタルとヒメボタルが記録されている。

77. ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky

- 隠岐 (江崎ほか, 1939)
- 隠岐 (岡部, 1950)
- 隠岐 (島根県, 1960)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 隠岐 (門脇, 1983)
- 島後 (谷ほか, 1982)
- 島後 (浅岡, 1998)
- 島後 (門脇, 2001)
- 島後 (林ほか, 2011)
- 島後 (林ほか, 2015)
- 島前 (木村, 1932)
- 島前 (神谷・山本, 1934)
- 島前 (木村, 1936)
- 西ノ島 (木村, 1937)
- 西ノ島 (木村, 1939)
- 西ノ島 (林ほか, 2011)

78. ヘイケボタル *Luciola lateralis* Motschulsky

- 隠岐 (江崎ほか, 1939)
- 隠岐 (岡部, 1950)
- 隠岐 (島根県, 1960)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 隠岐 (門脇, 1983)
- 島後 (門脇, 2001)
- 島前 (木村, 1932)
- 島前 (神谷・山本, 1934)
- 島前 (木村, 1936)

- 西ノ島 (木村, 1937)
- 西ノ島 (木村, 1939)
- 中ノ島 (林ほか, 2011)
- 知夫里島 (林ほか, 2011)

文献

- 浅岡孝知 (1998) 隠岐島 (島後・西ノ島) の昆虫 (7月). 虫譜, 36(2): 25-28.
- 江崎佛三・堀 浩・安松京三 (1939) 「原色日本昆蟲図説」三省堂.
- 福井修二 (1988) 隠岐諸島甲虫採集リスト (1988.6). すかしば, (30): 39-41.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料-2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録-. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 245-263.
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 299-306.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.
- 門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.
- 神谷一男・山本 玄 (1934) 隠岐島の昆虫相第一報 甲虫類 (1). 關西昆蟲學會會報, (5): 32-41.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 43-60. 隠岐地理學會, 海士.
- 木村康信 (1936) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 19-34. 隠岐地理學會, 海士.
- 木村康信 (1937) 黒木村の蟹に就いて. 隠岐教育, (5): 13.
- 木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.(自刊)
- 野津幸夫 (1996) 隠岐諸島産ヒメボタルの記録. すかしば, (43/44): 68.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.
- 島根県 (1960) 「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

ハムシ科 Chrysomalidae

隠岐諸島からは119種のハムシ科が記録されている。この内、水生種としてはイネネクイハムシとジュンサイハムシ (林ほか, 未公表) が確認されている。

79. イネネクイハムシ *Donacia provostii* Fairmaire
- 隠岐 (Chikaki, 1965)
- 隠岐 (島根県, 1975)
- 隠岐 (門脇, 1983)
- 島後 (大野, 1968)

- 鳥後 (大野・門脇, 1984)
 鳥後 (門脇, 2001)
 一. スゲハムシ *Plateumaris sericea* (Linnaeus) ※
 隠岐 (門脇, 1958)
 隠岐 (Chikaki, 1965) *
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)

**Plateumaris niponensis* Nakane として記録

※本種の記録は門脇 (1958) が初出で、その後の報告は引用である。その後の記録や標本がないこと、本土側の分布が中国山地に限られることから、隠岐産の種としては扱わないこととした (林・門脇, 2012)。

80. ジュンサイハムシ *Galerucella nipponensis* (Laboissiere)
 鳥後 (林ほか, 未公表)

文献

Chikaki, H. (1965) The list of insect in Shimane Prefecture IV. Coleoptera (Curculionoidea). *The Bulletin of the Shimane Agricultural College*, (13A): 45-54.

林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫類目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5): 1-120.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No. 1」 8p. (自刊)

門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.

門脇久志 (2001) 隠岐諸島の昆虫 18 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類. すかしば, (49): 39-55.

大野正男 (1968) 隠岐諸島のハムシ類 (3). すずむし, 17 (2): 33-38.

大野正男・門脇久志 (1984) 隠岐諸島のハムシ類 (4). 北九州の昆蟲, 31 (2): 97-101.

鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

チビゾウムシ科 Nanoohyidae

隠岐諸島からはヒシチビゾウムシ1種が記録されている。

81. ヒシチビゾウムシ *Nanophyes japonicus* Roelofs
 中ノ島 (林ほか, 2013)
 中ノ島 (林ほか, 2015)

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2015) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 IV. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 179-196.

イネゾウムシ科 Eirrhinidae

隠岐諸島からは2種が記録されている。イネミズゾウムシは北アメリカ原産の外来生物である。

82. イネゾウムシ *Echinocnemus bipunctatus* Roelofs

- 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (門脇, 1958)
 隠岐 (Chikaki, 1965)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 隠岐 (門脇, 1983)
 鳥後 (藤村, 1956)

83. イネミズゾウムシ *Lissorhoptrus oryzophilus* Kuschel
 西ノ島 (福井, 1988)

文献

Chikaki, H. (1965) The list of insect in Shimane Prefecture IV. Coleoptera (Curculionoidea). *The Bulletin of the Shimane Agricultural College*, (13A): 45-54.

藤村俊彦 (1956) 隠岐島の甲虫. AKITU, 5: 12.

福井修二 (1988) 隠岐諸島甲虫採集リスト (1988.6). すかしば, (30): 39-41.

門脇久志 (1958) 「隠岐島産昆虫目録 No. 1」 8p. (自刊)

門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫 10 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20): 3-20.

岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 鳥根教育, (430): 10-15.

鳥根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 鳥根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

双翅目 (ハエ目) Diptera

幼虫期に水中生活をする種が多く、多様性も非常に高い分類群である。しかしながら隠岐諸島の双翅目の解明はいちじるしく遅れており、水生種に限定すると33種が記録されているだけである。

ガガンボ科 Tipulidae

隠岐諸島からは2種の水生活種が記録されている。この他にも水生種が確認される可能性が高い。

1. マダラガガンボ *Tipula coquilleti* Enderlein
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (鳥根県, 1960)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 西ノ島 (木村, 1939)

2. キリウジガガンボ *Tipula aino* Alexander※
 隠岐 (岡部, 1931)
 隠岐 (岡部, 1950)
 隠岐 (鳥根県, 1960)
 隠岐 (鳥根県, 1975)
 西ノ島 (木村, 1939)

※本種の幼虫 (キリウジ) は、イネ、ムギの幼苗期の害虫として明治末期には鳥根県全域で発生していた記録がある (鳥根県植物防疫協会, 1962)。

文献

木村康信 (1939) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 23 p.

岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 鳥根教育, (430): 10-15.

岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 鳥根県隠岐高等学校研究部.

島根県 (1960)「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶山」232p. +7maps.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

島根県植物防疫協会 (1962)「島根県植物防疫史」. 島根県植物防疫協会, 松江.

アマカ科 Blephariceridae

隠岐諸島からは2種が記録されている. アミカ科の幼虫はすべて水生である.

3. ナガヒメアミカ (アシボソヒメフタマタアミカ) *Philorus longirostris longirostris* Kitakami

島後 (林ほか, 2013)

4. ゴカヒメアミカ *Philorus gokaensis* Kitakami

島後 (谷ほか, 1982)

文献

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16): 29-41.

チョウバエ科 Psychodidae

隠岐諸島にはチョウバエ科は生息しているが, 種まで同定された記録はない.

カ科 Culicidae

隠岐諸島からは13種が記録されているほか, クロコガタフトオヤブカ?が記録されている (長花ほか, 1995). カ科の幼虫はすべて水生である.

5. シナマハダラカ *Anopheles sinensis* Wiedemann

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

西ノ島 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

6. アカイエカ *Culex pipiens* Linne

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (木村, 1939)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

西ノ島 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

7. コガタアカイエカ *Culex tritaeniorhynchus* Giles

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

西ノ島 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

8. ミナミハマダライエカ *Culex mimeticus* Noe

島後 (長花ほか, 1955)

9. ヤマトクシヒゲカ *Culex sasai* Kano, Nitahara et Awaya

島後 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

10. トラフカクイカ *Culex vorax* Edwards

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

11. シロハシエカ *Culex pseudovishnui* Colles

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

西ノ島 (木村, 1939)

12. ヤマトヤブカ *Aedes japonicus* (Theobald)

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

西ノ島 (長花ほか, 1955)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

13. トウゴウヤブカ *Aedes togoi* Theobald

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

14. シロカタヤブカ *Aedes nipponicus* Lacasse et Yamaguti

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

15. ヒトスジシマカ *Aedes albopictus* (Skuse)

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

島後 (長花ほか, 1955)

西ノ島 (木村, 1939) *

中ノ島 (長花ほか, 1955)

知夫里島 (長花ほか, 1955)

*ヒトスズヤブカとして記録

16. キンイロヤブカ *Aedes vexans* (Meigen)

中ノ島 (長花・外山, 1954)

17. オオクロヤブカ *Armigeres subalbatus* (Coquillett)

隠岐 (島根県, 1960)

隠岐 (島根県, 1975)

西ノ島 (木村, 1939)

西ノ島 (長花・外山, 1954)

中ノ島 (長花ほか, 1955)

文献

- 木村康信 (1939)「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」.
23 p.(自刊)
- 長花 操・外山寛樹 (1954) 隠岐島に於けるフィリラリア
症. 米子医学雑誌, 5: 194-198.
- 長花 操・外山寛樹・西田 弘・浅木快造・上平 用
(1955) 隠岐島に於けるフィリラリア症 (第2報). 米
子医学雑誌, 6: 122-129.
- 島根県 (1960)「国立公園候補地 隠岐島・島根半島・三瓶
山」232p. +7maps.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自
然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

ブユ科 Simuliidae

隠岐諸島からは10種が記録されている. このほか木村
(1932)が「きあしぶゆ」を記録しており, キアシオオブユま
たはキアシツメトゲブユに対応する可能性がある. ブユ科
の幼虫はすべて水生である.

18. ウチダツノマユブユ (ウチダナガツブユ) *Simulium*
uchidai (Takahasi)
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (吉田ほか, 1956)
島後 (馬場・高岡, 1985)
島前 (吉田ほか, 1956)
19. オタルツノマユブユ (オタルナガツブユ) *Simulium*
subcostatum subcostatum (Takahasi)
島後 (吉田ほか, 1956)
島後 (馬場・高岡, 1985)
20. クジツノマユブユ (クジナンヨウブユ) *Simulium*
shogakii (Rubzov)
島後 (吉田ほか, 1956)
知夫里島 (林, 2016)
21. ミエツノマユブユ (ミエミヤマブユ) *Simulium mie*
Ogata et Sasa
中ノ島 (林, 2016)
22. アオキツメトゲブユ *Simulium aokii* (Takahashi)
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (吉田ほか, 1956)
23. キソヤマブユ *Simulium kisoense* Uemoto, Onishi et
Orii
島後 (馬場・高岡, 1985)
24. キアシツメトゲブユ *Simulium bidentatum* (Shiraki)
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (吉田ほか, 1956)
25. アシマダラブユ *Simulium japonicum* Matsumura
島後 (吉田ほか, 1956)
島後 (馬場・高岡, 1985)
西ノ島 (林, 2016)
26. ヒメアシマダラブユ *Simulium arakawae* Matsumura
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (吉田ほか, 1956)
島後 (馬場・高岡, 1985)

27. カワムラアシマダラブユ *Simulium kawamurae* Matsu-
mura
島後 (谷ほか, 1982)

文献

- 馬場 稔・高岡宏行 (1985) 隠岐諸島のブユ相とブユ幼虫
の寄生虫について. 衛生動物, 36(1): 71-73.
- 林 成多 (2016) 隠岐島前で採集したブユ科幼虫. ホシザ
キグリーン財団研究報告, (19). 印刷中.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自
然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.
- 谷 幸三・富永 修・土井伸治郎 (1982) 隠岐島の水生昆
虫. すかしば, (16): 29-41.
- 吉田幸雄・佐藤淳夫・正垣幸男 (1956) 大山及び隠岐島に
於けるブユ. 衛生動物, 7(2): 118-119.

ユスリカ科 Chironomidae

隠岐諸島からは種まで同定された記録はないが, 複数の
種が分布している.

ヌカカ科 Ceratopogonidae

隠岐諸島からは種まで同定された記録はないが, ヒラタ
ヌカカ属などが生息している.

ハナアブ科 Syrphidae

幼虫の生息環境には, 陸生と水生の種がいる. 隠岐諸島
からは水生の4種が記録されている.

28. アシプトハナアブ *Helophilus virgatus* Coquillett
隠岐 (島根県, 1975)
島後 (林ほか, 2013)
29. オオハナアブ *Phytomia zonata* (Fabricius)
隠岐 (島根県, 1975)
西ノ島 (木村, 1939)
西ノ島 (林ほか, 2013)
中ノ島 (林ほか, 2013)
知夫里島 (林ほか, 2013)
30. ナミハナアブ *Eristalis tenax* (Linnaeus)
隠岐 (岡部, 1950)
隠岐 (島根県, 1960)
隠岐 (島根県, 1975)
西ノ島 (木村, 1939)
31. シマハナアブ *Eristalis cerealis* Fabricius
隠岐 (岡部, 1950) *
隠岐 (島根県, 1975)
*ノラハナアブとして記録

文献

- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵
(2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012
年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別
号, (8): 1-73.
- 木村康信 (1939)「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」.
23 p.(自刊)
- 岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島

根県隠岐高等学校研究部。

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

アブ科 Tabanidae

隠岐諸島からは7種のアブ科が記録されている (山内ほか, 2013). 各種の幼虫期の生息環境が不明なため, 今回は水生種としての掲載を見送った.

文献

山内健生・渡辺 護・林 成多 (2013) 島根県のアブ科. 昆虫ニューシリーズ, 16(1): 24-30.

ナガレアブ科 Athericidae

隠岐諸島からはクロモンナガレアブ1種が記録されている. ナガレアブ科の幼虫はすべて水生である.

32. クロモンナガレアブ *Suragina caerulescens* (Brunetti)

島後 (林ほか, 2015) *

島後 (林, 2016)

西ノ島 (林ほか, 2015)

西ノ島 (林, 2016)

*ハマダラナガレアブ *Atherix ibis* (Fabricius) として記録 (誤同定: 林, 2016)

文献

林 成多 (2016) 島根県産ナガレアブ科の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (19). 印刷中.

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8): 1-73.

ミズアブ科 Stratiomyidae

幼虫の生息環境には, 陸生と水生の種がいる. 隠岐諸島

からは水生のミズアブ1種が記録されている.

33. ミズアブ *Stratiomys japonica* (van der Wulp)

隠岐 (岡部, 1950) *

隠岐 (島根県, 1975)

*ナミミズアブとして記録

文献

岡部武夫 (1950) 隠岐郷土選書第2巻「隠岐雑俎」80p. 島根県隠岐高等学校研究部.

島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 隠岐島 島根県自然環境保全地域候補学術調査報告第2集 別表2: 1-35.

アシナガバエ科 Dolichopodidae

隠岐諸島にはアシナガバエ科は生息しているが, 種まで同定された水生種の記録はない.

ヤチバエ科 Sciomyzidae

隠岐諸島にはヤチバエ科は生息していると思われるが, 種まで同定された水生種の記録はない.

ニセミギワバエ科 Canacidae

隠岐諸島にはニセミギワバエ科は生息していると思われるが, 種まで同定された記録はない.

フンバエ科 Scathophagidae

隠岐諸島にはフンバエ科は生息しているが, 種まで同定された水生種の記録はない.

イエバエ科 Muscidae

カトリバエ類が水生種として知られているが, 種まで同定された水生種の記録はない.

図 版

図版Ⅰ 隠岐諸島産水生昆虫の生息環境 (1)

- A, 油井の池 (隠岐の島町油井, 2013.6.28). 水生植物の豊富な止水環境.
- B, 油井の池 (隠岐の島町油井, 2014.5.22). 水辺の様子.
- C, 油井の池 (隠岐の島町油井, 2014.7.15). ウシガエルが非常に多く生息しており, 生息する水生昆虫を大量に補食している可能性がある.
- D, 亀の原池 (隠岐の島町都万, 2012.7.4). 開放水面の広い池. 水辺には小規模な湿地がある.
- E, 大峯山西麓の池 (隠岐の島町伊後, 2013.6.29). 開放水面の広い池. 水辺に水生植物群落がある.
- F, 大峯山北麓の池 (隠岐の島町西村, 2013.6.29). 水面にはヒシの群落がある, 水辺にも水生植物が多い.
- G, 水田 (隠岐の島町蛸木, 2014.5.21). 田植え後の様子.
- H, 水田の水路 (隠岐の島町元屋, 2013.6.29). 護岸されていない水路.



図版 II 隠岐諸島産水生昆虫の生息環境 (2)

- A, 小路川 (隠岐の島町小路, 2014.7.14). 周囲は開けている. 河床は礫が多いが, 泥も多い.
- B, 小路川 (隠岐の島町小路, 2014.7.14). ヒラタドロムシ幼虫とニシシマドジョウ.
- C, 小路川 (隠岐の島町小路, 2014.7.14). シマヨシノボリ.
- D, 那久川 (隠岐の島町那久, 2013.6.28). 周囲は開けている. 河床は礫が多い.
- E, 南谷 (隠岐の島町布施, 2014.7.13). 人工林の中の溪流環境.
- F, 中谷 (隠岐の島町布施, 2014.7.14). 自然林の中の溪流環境. 河床の一部に岩盤が露出する.
- G, 有木 (隠岐の島町有木, 2012.7.5). 林道法面の湿岩環境.
- H, 有木 (隠岐の島町有木, 2012.7.5). 湿岩に生息するツチガエル.



図版 III 隠岐諸島産水生昆虫の生息環境 (3)

- A, 中谷 (隠岐の島町布施, 2014.7.14). 法面の岩盤上に形成した湿岩環境.
- B, 南谷 (隠岐の島町布施, 2012.5.17). 法面の岩盤上に形成した湿岩環境.
- C, 大峯山北麓 (隠岐の島町西村, 2013.6.29). 法面の岩盤上に形成した湿岩環境.
- D, 末路川河口 (隠岐の島町都万, 2014.5.21). 河口の上流側.
- E, 重栖川河口干拓地 (隠岐の島町北方, 2012.7.4). 水路は海水. 牧草地には塩性湿地が広がる.
- F, 卯敷の岩礁 (隠岐の島町卯敷, 2012.7.4). 岩礁には大小のタイドプールや雨水貯まりがある.
- G, 美田のため池 (西ノ島町美田, 2013.5.11). 美田ダムの上流にあるため池.
- H, 耳耳浦の水田 (西ノ島町別府耳耳浦, 2015.5.13). 田植え前の水田.



図版 IV 隠岐諸島産水生昆虫の生息環境 (4)

- A, 美田ダム上流の沢 (西ノ島町美田, 2013.5.11). 河床に露岩が多い.
- B, 美田ダム上流の沢 (西ノ島町美田, 2013.5.11). ヨシノボリ的一种 (クロヨシノボリ?).
- C, 美田ダム上流の沢 (西ノ島町美田, 2013.5.11). カワニナ.
- D, 大山ダム上流の沢 (西ノ島町美田, 2013.5.11). 河床に露岩が多い.
- E, 耳耳浦川 (西ノ島町別府耳耳浦, 2013.5.11). 河床は砂礫だが泥質.
- F, 耳耳浦川 (西ノ島町別府耳耳浦, 2015.5.13). Eの下流側.
- G, ため池 (海士町海士, 2015.5.14). 水中にフトヒルムシロやエビモが生えている.
- H, ため池 (海士町海士, 2015.5.13). 水辺にマコモの群落がある.



図版 V 隠岐諸島産水生昆虫の生息環境 (5)

- A, ため池 (海士町海士, 2013.10.18). ヒシとフトヒルムシロが密集して生えている.
- B, ため池 (海士町豊田, 2013.10.18). フトヒルムシロが生えている.
- C, 大規模な貯水池 (海士町豊田, 2013.10.18). 水生植物の群落はない.
- D, 豊田の水田 (海士町豊田, 2013.10.18). 稲刈り後の水田.
- E, 角山の休耕田 (海士町海士, 2013.10.18). ガマなどが生えている. 水は少ない.
- F, 水田 (海士町海士, 2013.9.3). 中ノ島は水田の面積が広い.
- G, 保々見の沢 (海士町知々井, 2012.7.3). 人工林に覆われた小規模な沢.
- H, 保々見の沢 (海士町知々井, 2012.7.3). サワガニ.



図版 VI 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (1)

- A, キイロカワカゲロウ (カワカゲロウ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- B, フタスジモンカゲロウ (モンカゲロウ科), 隠岐の島町, 2005.8.9.
- C, オビカゲロウ幼虫 (ヒラタカゲロウ科), 隠岐の島町, 2012.5.17.
- D, キイトトンボ (イトトンボ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- E, クロイトトンボ (イトトンボ科), 隠岐の島町, 2014.5.22.
- F, モノサシトンボ (モノサシトンボ科), 海士町, 2013.9.2.
- G, オオアオイトトンボ (アオイトトンボ科), 海士町, 2013.10.20.
- H, オオカワトンボ (カワトンボ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.



図版 VII 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (2)

- A, オニヤンマ (オニヤンマ科), 隠岐の島町, 2005.8.7.
- B, エゾトンボ (エゾトンボ科), 隠岐の島町, 2004.8.7.
- C, シオカラトンボ (トンボ科), 隠岐の島町, 2005.8.8.
- D, アキアカネ (トンボ科), 海士町, 2012.7.3.
- E, ノシメトンボ (トンボ科), 西ノ島町, 2013.10.19.
- F, チョウトンボ (トンボ科), 隠岐の島町, 2004.8.7.
- G, フタツメカワゲラ属 (カワゲラ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- H, ミズカマキリ (タイコウチ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.



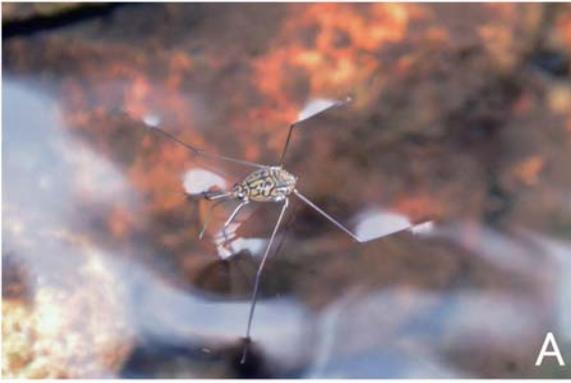
図版 VIII 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (3)

- A, マツモムシ (マツモムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- B, コマツモムシ (マツモムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- C, ムモンミズカメムシ (ミズカメムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- D, ウミミズカメムシ (ミズカメムシ科), 海士町, 2013.9.4.
- E, ヒメイトアメンボ (イトアメンボ科), 西ノ島町, 2015.5.16.
- F, ナミアメンボ (アメンボ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- G, コセアカアメンボ (アメンボ科), 隠岐の島町, 2014.5.21.
- H, エサキアメンボ (アメンボ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.



図版 IX 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (4)

- A, シマアメンボ (アメンボ科), 隠岐の島町, 2014.7.14.
- B, タニガワミズギワカメムシ (ミズギワカメムシ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- C, ヘビトンボ (ヘビトンボ科), 隠岐の島町, 2005.8.9.
- D, ヘビトンボ幼虫 (ヘビトンボ科), 西ノ島町, 2013.5.11.
- E, タイリククロスジヘビトンボ (ヘビトンボ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- F, タイリククロスジヘビトンボ幼虫 (ヘビトンボ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- G, クロセンブリ (センブリ科), 西ノ島町, 2013.5.11.
- H, カクヒメトビケラ属 (ヒメトビケラ科), 西ノ島町, 2013.5.11.



図版 X 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (5)

- A, ガロアシマトビケラ (シマトビケラ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- B, オオムラサキトビケラ (トビケラ科), 隠岐の島町, 2012.9.13.
- C, ニンギョウトビケラ巢 (ニンギョウトビケラ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- D, コツブゲンゴロウ (コツブゲンゴロウ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- E, キボシケシゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 隠岐の島町, 2005.8.9.
- F, ケシゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 海士町, 2015.5.13.
- G, チャイロチビゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.
- H, ツブゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 西ノ島町, 2015.5.13.



A



B



C



D



E



F



G



H

図版 XI 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (6)

- A, モンキマメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.
- B, クロズマメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- C, チャイロマメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 海士町, 2015.5.13.
- D, マメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 海士町, 2015.5.13.
- E, マメゲンゴロウ幼虫 (ゲンゴロウ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- F, キベリクロヒメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 海士町, 2015.5.13.
- G, ヒメゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 海士町, 2015.5.13.
- H, ハイイロゲンゴロウ (ゲンゴロウ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.



図版 XII 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (7)

- A, オオミズスマシ (ミズスマシ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- B, ミズスマシ (ミズスマシ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- C, オナガミズスマシ (ミズスマシ科), 隠岐の島町, 2014.7.14.
- D, ヒメセマルガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2014.5.22.
- E, マルガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2012.7.5.
- F, マルガムシ幼虫 (ガムシ科), 隠岐の島町, 2012.7.5.
- G, ツヤヒラタガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.
- H, コモンシジミガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.



図版 XIII 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (8)

- A, スジヒラタガムシ (ガムシ科), 海士町, 2015.5.13.
- B, キイロヒラタガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.15.
- C, ヒメガムシ (ガムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- D, タマガムシ (ガムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- E, トゲバゴマフガムシ (ガムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.16.
- F, ミヤタケダルマガムシ (ダルマガムシ科), 海士町, 2015.5.13.
- G, ヒメキムネマルハナノミ (マルハナノミ科), 海士町, 2015.5.14.
- H, トビイロマルハナノミ (マルハナノミ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.



図版 XIV 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (9)

- A, ヒラタドロムシ幼虫 (ヒラタドロムシ科), 隠岐の島町, 2013.6.28.
- B, クシヒゲマルヒラタドロムシ (ヒラタドロムシ科), 隠岐の島町, 2014.5.21.
- C, マルヒゲナガハナノミ幼虫 (ヒラタドロムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.14.
- D, ツヤナガアシドロムシ (ヒメドロムシ科), 隠岐の島町, 2014.7.14.
- E, ホソヒメツヤドロムシ (ヒメドロムシ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- F, サンインヒメツヤドロムシ (ヒメドロムシ科), 海士町, 2015.5.14.
- G, ゲンジボタル (ホタル科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- H, ゲンジボタルの発光 (ホタル科), 隠岐の島町, 2013.6.29.



図版 XV 隠岐諸島産水生昆虫の生態・生体写真 (10)

- A, ジュンサイハムシ (ハムシ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- B, ヒシチビゾウムシ (チビゾウムシ科), 海士町, 2013.9.3.
- C, イネゾウムシ (イネゾウムシ科), 西ノ島町, 2015.5.13.
- D, ナガヒメアマミカ (アマミカ科), 隠岐の島町, 2012.5.17.
- E, カ科幼虫 (カ科), 隠岐の島町, 2014.7.13.
- F, ヒラタヌカカ属幼虫 (ヌカカ科), 隠岐の島町, 2013.6.29.
- G, アシプトハナアブ (ハナアブ科), 隠岐の島町, 2012.5.18.
- H, クロモンナガレアブ幼虫 (ナガレアブ科), 西ノ島町, 2015.5.13.



資 料

資料 1. 隠岐諸島の水生昆虫に関わる覚え書き

資料 2. 隠岐諸島のオオカワトンボ隠岐群覚え書き

資料 1. 隠岐諸島の水生昆虫に関わる覚え書き

門脇久志

1. 隠岐諸島の水生昆虫と古い文献

(1) 田中房太郎「幻の昆虫目録」

田中房太郎は、農事試験場八田分場長として赴任した明治 37 年 (1904 年) 7 月から離島した大正 2 (1913 年) 年 3 月までの 9 年間業務の傍ら昆虫採集を行い、多くの標本を残した (上田, 1965)。

田中は病害虫についての造詣が深く、明治 23 年 (1890 年) 水稻苗代の害虫切蛆 (キリウジガガンボの幼虫) を発見し、その防除に取り組み湛水駆除法を考案した功績で、名和昆虫研究所より表彰をうけ記念にキリウジガガンボを描いた盃を贈られたといわれる (島根県植物防疫史, 1962)。

田中の標本にどれだけ水生昆虫があったか確認できないが、神谷・山本 (1934) は、田中の標本を見て“採集出来なかったものはそれを加えた”と述べており、岡部 (1950) は、“以前、八田の試験場長田中氏が非公式? に発表されたものは除外した。”と述べている。

田中の標本は隠岐農場 (旧八田分場) に保管されており、私 (門脇) が標本を見たのは昭和 33 年 (1958 年) で、標本箱は農場建物 2 階に保管されていたが、標本は虫害で原形をとどめておらず、「ひらがな」の種名ラベルと昆虫針が残っていた。その後、農場が廃止され建物も取り壊されて、貴重な標本も非公式に発表されたという目録も幻のまま滅失した。

(2) 岡部武夫「隠岐の動植物 (1931)」と「隠岐雑俎 (1950)」

岡部武夫は、島後の穂地郡五箇村 (現隠岐の島町) の生まれで、明治 44 年 (1911 年) 島根師範学校を卒業、隠岐島内各小学校を歴任し、昭和 8 年 (1933 年) に五箇村尋常高等小学校長を最後に退職した (上田, 1965)。

岡部 (1931) 隠岐の動植物

島根教育の第 429, 430 号に研究として発表されたもので、動物は第 430 号に掲載されている。昆虫類は 268 種 (3 種は重複) が和名で順不同で列記されている。今回の目録に収録した水生昆虫は 19 種である。

ヒメキリウジガガンボは記録に疑問があり、イトトンボ、サナエトンボ、ヒゲナガミズアブの 3 種は、対応する種が不明のため目録の対象にできなかった。

岡部 (1950) 隠岐雑俎

島根県立隠岐高等学校研究部が、地元研究者による隠岐の自然、民族、歴史などの研究成果を隠岐郷土選書として発刊した第 2 巻で、隠岐の動植物全般にわたり記述されている。昆虫類の目録は 338 種が学名と和名で順不同に列記されているほか、隠岐での昆虫の方言などを紹介しており、その中にも目録にない 27 種がある。今回の目録に収録した水生昆虫は 28 種である。

岡部は、目録のあとがきに“以前、八田の試験場長田中氏の昆虫目録が非公式? に発表されたものの中からも筆者自採集してないものは除外しました。”と明記しており、「田中の非公式? な目録」には、岡部が採集していない昆虫があったと思われる。また、岡部は“私が隠岐の生物を調べかけたのは大正元年 (1912 年) からである。”と述べており、田中が離島したのは大正 2 年 (1913 年) 3 月であるので、田中との接点はその頃と思われる。

(3) 木村康信「島前における動植物分布 (1932, 1936)」と「隠岐黒木村二分布セル動植物目録 (1939)」

木村康信は、西ノ島の知夫郡黒木村（現西ノ島町）の生まれで、昭和3年（1928年）島根師範学校本科二部を卒業後、島内各小中学校を歴任し、都万村蛸木小学校長を最後に退職。昭和40年（1965年）に西ノ島町教育長に就任した。隠岐の動植物に関心を寄せ採集と標本作製に努め、鳥類、貝類、カニ類、昆虫類などの標本類は、木村コレクションと呼ばれているが、昆虫標本は虫害が甚だしく（上田, 1965）、私（門脇）は、昭和60年（1985年）10月に西ノ島町黒木公民館に保管されていた昆虫標本を見たが、虫害で原形をとどめるものはなかった。

木村 (1932, 1936) 島前における動植物分布

木村 (1932) は、概観島前地誌（隠岐地理学会）の付録として発表されたもので、島前に分布する動植物が和名（ひらがな）で列記されている。昆虫類は不明種を含め181種が記録されており、水生昆虫は不明種を含め25種である。今回の目録に収録した水生昆虫は17種で、対応する種が不明な、かわげら、ががんぼ、か、やぶか、ぬかか、きあしぶゆ、の6種は目録の対象にできなかった。

木村 (1936) は、概観島前地誌増補訂正版の付録二で昆虫類は蝶4種、甲虫19種の目録とヨコズナトモエの採集記録だけで、なぜか“以上で昆虫類は発表をひかえる”記されている。

木村 (1939) 隠岐黒木村二分布セル動植物目録

西ノ島旧黒木村（現西ノ島町美田・別府・宇賀）の動植物目録（謄写自刊）で、昆虫類は7目87科354種が学名と和名で記録されている。水生昆虫は41種で今回の目録に収録した。

私（門脇）は、西郷町中條中学校長の頃に初めて会って、大切に持っておられた「隠岐黒木村二分布セル動植物目録」を借りて、隠岐支庁の女性職員に上司に内緒で書き写してもらった。なお、この表紙には直筆で“昭和23年3月15日現在にて追加訂正もの”と書かれており、“島後でルーミスジミを採る”などの書き込みがあった。

(4) 神谷一男・山本 玄「隠岐島の昆虫相第1報. 甲虫類目録 (1) (1934)」

神谷・山本と学生2名の4名が、昭和9年（1934年）7月3-5日の3日間、島前の中ノ島・西ノ島と島後での甲虫類の採集記録で“隠岐は初めてで出来るだけ広く歩き、各種の昆虫を採集するよう努めたが、短期間で満足する結果は不可能であった”と述べている。その中で比較的集まったのは甲虫で“それに田中房太郎氏採集の標本を見ることができたので、吾々が採集出来なかったものはそれを加えて第1報として報告することにした”と記してあり、目録に田中の標本が加えられているのは明らかである。

目録は、産地を島前と島後に分け26科160種が記録され、このうち水生甲虫は4科11種で今回の目録に収録した。島前からは1科2種、島後からは3科9種でゲンゴロウ科の7種を含んでおり、3日間の日程には島前・島後間の船での移動も含むので、全種の採集は厳しいと思われる。

(5) 長花 操・外山寛樹ほか「隠岐島におけるフィラリア症 (1954, 1955)」

鳥取大学医学部公衆衛生学教室が昭和28-29年（1953-1954年）に、隠岐の島後・島前各島でフィラリア症の調査を実施し、同時に行ったカ科の採集記録で種名未確定の1種を含め13種を報告している。

島根県（1975）は、上田（1965）が引用した7種のうち誤りのニホンホソカを除く6種を引用しているが、今回の目録は原著を確認して種名未確定の1種を除く12種を収録した。

(6) 門脇久志「隠岐島産昆虫目録 No. 1 (1958)」

隠岐支庁勤務となった初年（1958年）に、大満寺山を中心とした西郷町（現隠岐の島町）有木、八田、銚子などで採集した目録（謄写自刊）で30部を作成して既知の方に渡したものである。

目録では4目32科176種を記録し、水生昆虫はムカシトンボなど5科10種である。標本は隠岐農場に保管を依頼していたが、農場廃止に伴う建物取り壊しで滅失し、同定に疑問があったスゲハムシは、その

後の報告(林・門脇, 2012)で再録しないことにした。

(7) 西村 登「隠岐島の溪流昆虫小記(1966)」

隠岐諸島の溪流に生息する全水生昆虫を対象とした最初の報告で、島後5か所、西ノ島3か所で採集した底生の幼虫で7目30種を記録している。このうち種名確定は16種、種名未確定は14種である。

(8) 島根県「隠岐島産動物目録(1960)」

島根県は、昭和35年(1960年)に隠岐島・島根半島・三瓶山の国立公園指定を要望し、その基礎資料として隠岐島・島根半島・三瓶山 国立公園候補地基本調書を作成した。島根県(1960)の「隠岐島産動物目録」は、基本調書の付録で昆虫類は11目358種が記録され、このうち水生昆虫は7目21科42種である。

目録の説明や引用文献は記されていないが、本文の大氏正巳「動物景観」の参考文献に木村康信(昭和23年)「隠岐黒木村二分布セル動植物目録」があった(「昭和23年」は誤り)。目録と木村(1939)との種名を照合すると、他の文献の引用が明らかなショウジョウバエなど一部を除いてよく一致した。従って、この目録は大氏正巳が木村(1939)を基本にして作成したもので、岡部(1931)などは引用されていない。

(9) 島根県「隠岐島に生息する昆虫(1975)」

島根県は、県内各地の優れた自然環境を保全するため、候補地を選定して学術調査を実施し報告書をまとめた。1975年は隠岐島後の高尾暖地性潤葉広葉樹林周辺を対象に調査が行われ、そのた調査報告書の別表2が「隠岐島に生息する昆虫(1975)」であり、現時点では隠岐諸島産の全昆虫の目録としては最後のものである。

この目録は、調査に参加した近木英哉と門脇久志が入手していた文献記録を整理し、明らかな誤認や再検討が必要な種を除外して14目188科1,031種(前報(2012)の189科1,148種を訂正)を記録している。このうち水生昆虫は7目41科93種である。目録には当時未発見であった岡部(1931)や長花・外山ほか(1954, 1955)の一部など見落としした種がある。また、近木が採集した数種が含まれている。

(10) 上田常一「隠岐の動物(1965)」

本書は、隠岐の動物開拓の歩み、隠岐の動物相の展望、隠岐の動物の興亡誌、隠岐のさかな、隠岐の有害動物、隠岐の動物研究年表で構成されており、田中房太郎、岡部武夫、木村康信など昆虫研究者の経歴、ルーミスジミ、オキナワリリチャシ、ムカシトンボ、カ科、ブユ科など昆虫関係の記述も多い。巻末の隠岐の動物研究年表は、明治38年(1905年)から昭和40年(1965年)までの報文、新聞記事が掲載されており参考になる。

2. 記憶に残る隠岐の水生昆虫

(1) 隠岐のムカシトンボと平田信夫先生

平田先生は、高校時代の恩師で生物の先生である。カミキリムシ研究で著名であるが、隠岐のルーミスジミ再発見、仁多町呑谷のヒメシロチョウ採集などカミキリムシ以外にも目を向けられていた。

ムカシトンボもその中の一つで、松江市天狗山での採集は島根県初記録である。標本を見せながら「広島県ではよう採ったが、島根県じゃあ見かけんのう」と話されていて、いつかは自分で採りたいと思っていた。

昭和33年(1958年)5月3日、有木林道の終点で自転車を降り、大満寺旧登山口の地蔵さんの前で腰を下ろしていた時、目の前の溪流をヒラヒラとトンボが飛んでいた。夢中で追っかけネットを振り、恐る恐る中をのぞいた“間違いのないムカシトンボだ”。隠岐に渡って1か月、こうまで早くムカシトンボが採れるとは思ってもおらず、隠岐の昆虫にのめり込むきっかけとなったムカシトンボである。

この場所に砂防ダムが出来て環境は一変した。大満寺山麓、有木川上流のムカシトンボの今の調査が望

まれる。

(2) 隠岐のトンボ類と朝比奈正二郎先生

昭和41年(1966年)12月、私は同定の難しさから、採集した隠岐のトンボの同定を朝比奈先生にお願いした。「拝見するので送り下さい」との返事があり、早速、その年の採集品を送った。

折り返して21種の同定表と「サナエ類、ムカシヤンマの生息の有無、カワトンボの(橙色型、透明型共に)には特に興味があり注目している。イトトンボ類も目標になり、秋のアカトンボ類も種類が増え、タイリクアカネ、タイリクアキアカネ、ひょっとするとオナガアカネなど大陸産の珍品が採れるかも知れないから、溪流や山際の貯水池などに注意するように」とあった。

その後、上京の際に標本を持参して同定していただいた。オオカワトンボの「透明翅型♂*f.kadowakii*」は思いもよらないことであった。門脇(1977)は、10科42種を記録したが、今では11科56種が記録され、指摘されたタイリクアカネ、タイリクアキアカネ、オナガアカネなど大陸産の珍品も採集されている。

(3) 隠岐のオオカワトンボと鈴木邦雄先生

子供のころカワトンボは珍しくなかった。隠岐で初めて採った時のこともよく覚えていない。透明翅型♂*f.kadowakii*に愛着を感じつつも蝶や甲虫に目が向いていた。

昭和60年(1985)、富山大学の鈴木邦雄先生に、隠岐島後含む島根県内のカワトンボを送ったことで、鈴木先生との山陰地方のカワトンボ分布調査にのめり込むこととなった。調査は隠岐諸島に始まり島根県の西部から鳥取県東部まで広がり、分布調査の難しさと面白さを実感した。この経験が後のプタクサハムシやヒメドロムシなどの分布調査に役立った。

平成8年(1996年)鈴木先生と学生さんが、オオカワトンボ中国群とニシカワトンボ南海群が共存する、自宅(門脇)近くの阿用川と玉湯川の上支流で行ったテリトリー構造や交尾行動の観察・実験も興味深く、単独で生息するオオカワトンボ隠岐群はどう反応するだろうか。

(4) 隠岐の水生甲虫類と中根猛彦先生

中根先生に初めてお目にかかったのは国立科学博物館で、その後は東大赤門前の自宅に標本を持参して同定をしていただいた。隠岐で採集したほぼ全部の甲虫類の同定をお願いし、「中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類(門脇, 2001)」で49科358種を報告した。このうち水生甲虫は6科13種でキスジミゾドロムシ、トゲバゴマフガムシなどは初めて聞く種名であった。

昭和43年(1968年)年秋と思うが、持参した三角紙の中を見ながら「これ一緒に採れたもの」と聞かれ、「ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルと一緒に入っている」といわれた。その三角紙には“大満寺山.1968. vii. 14と記してあった。大満寺山の登山路まで、急峻な谷合いに有木川に沿って林道があり、狭い谷の所々に小さな水田があった。林道を歩きながら掬い採りをしていたので、この時期に発生していたゲンジボタル④、ヘイケボタル①、ヒメボタル②の3種7個体が同じ日に採れたと思われる。後日、中根先生から同じ三角紙の中に、更にオバボタルとスミアカベニボタルの2種が入っていたとの葉書が届いた。

林道沿いに点在した水田は造林地に様変わりして、大きく伸びた杉林に昔の面影はなく、ヘイケボタルが生息する環境ではない。

(5) 隠岐のトビケラ類と小林峯生先生

昭和34年(1959年)秋、この年の採集を終わったものの同定に自信がなく、「隠岐島昆虫目録No.2」を作るかどうか迷っていた。専門家の同定を受けて間違いのない目録にしなければと、修学旅行で訪れたことがある国立科学博物館に同定と文献の教示をお願いした。

科学博物館からは同定ができること、三宅(1907)と神谷・山本(1934)はマイクロフィルムが可能であると返事があった。早速、標本を送って同定をお願いし、トンボ目18種、チョウ目3種、コウチュウ目

61種、カメムシ目 18の同定表が届いた。この時の担当が小林先生で、神奈川県立博物館に移られてからも専門のトビケラ類の調査や同定で指導をいただいた。

隠岐を含む島根県内で採集したトビケラ類は、上京の際に博物館に持参していたが、昭和60年(1985年)9月には小林先生と隠岐島後の西郷町銚子と都万村壇鏡滝の2か所で灯火採集を行った。それらの成果は小林(1987)で報告されている。

その後の採集品も送って同定をお願いし、門脇(1998)で16種を記録し、うち7種は種名未確定である。小林先生からは「トビケラを採集するなら、科単位の区分ぐらいはやれ」と叱咤激励されたが、採集屋に転落した私はどうやっても難しく分類などできなかった。

(6) スゲハムシの再録保留と大野正男先生

隠岐のスゲハムシは、門脇(1958)が大満寺山周辺で1958.vii.20採集で記録したもので、Chikaki(1965)や島根県(1975)は引用である。昭和42年(1967)11月、隠岐のハムシ相を調査されていた大野先生から「Chikaki(1965)の目録は、門脇(1958)の引用と思われるが、1963年に記載されている学名 *P. nipponensis* となっているのは何故か」の問い合わせがあった。大野先生はまだ門脇(1958)を見ておられず「保育社の原色日本昆虫図鑑を見て *Plateumaris sericea* Linne としている」と返事をした。

その後、大満寺山麓でネクイハムシを採集したが、イネネクイハムシ(中根, 同定)であった。標本が隠岐農場の廃止で滅失し、再発見もされていないので、林・門脇(2012)で隠岐産としないことにした。大野先生には、この当時から今日までハムシ類をはじめ、多くの昆虫その他動物の貴重な文献の恵与や教示をいただいている。

(7) 隠岐のカワゲラ類の研究小史

隠岐の昆虫文献で「かはげら」と書いてあるのは、木村(1932)で昆虫類の跳躍目にある。種名不明で今回の目録では取り上げていないが、カワゲラの大形成虫はバッタの仲間に似た感じがしないでもない。隠岐のカワゲラ類は、西村(1966)が幼虫で種名未確定で記録した島後の1種、西ノ島の別の1種が最初の記録である。次いで、谷ほか(1982)は、島後から幼虫で3種と種名未確定の3種を記録した。その後は、同定の難しさなどからカワゲラ目やカゲロウ目などは、採集することも新たな記録を見ることはなかった。

平成9年(1997)、島根県東部、斐伊川での河川調査でコカワゲラが発見されて状況は一変し、県内の河川でカワゲラ、カゲロウなどの採集が始まった。隠岐も例外でなく、稲田ほか(2001)は、1996年~2000年に島後の61地点で採集した標本で7科34種(うち14種は種名未確定)を記録した。

今回の目録には6科22種を記録しているが、そのほかに多くの種名未確定種があり今後の調査が望まれる。また、島前は西ノ島の1種のみで未調査の状況である。島前の河川環境では多くの種は期待でないが、実態の把握は隠岐諸島のカワゲラ相の解明には欠かせない。

(8) ハネビロトンボと油井ノ池

昭和41年(1966年)7月25日、都万村那久でバスを降りて海岸の道路を油井に向かった。この道路は海岸の絶壁を縫うようにあったが、今は各所で崩壊し荒れ果てて通行不能である。油井ノ池は、油井集落の手前で旧道から右にミカン畑沿いの小道を下ると目前に広がっていた。広い水田の真中にヤナギらしい灌木に囲まれ、水面が青く深そうな池があり、水田は青々と水稻が伸びていた。

水田を半周して反対側の杉林の下におり、水辺の大きな石に腰かけ水田を眺めていた。その時、高いところで黒い翅をヒラヒラさせながらゆっくり飛ぶトンボとやや低い所で行き来しながら時々ホバーリングするトンボを見つけた。

粘りに粘ってネットに入れ、黒いのはチョウトンボと分かったが、もう1種は見たこともないトンボで

あった。帰宅し図鑑を見てハネビロトンボらしいと分かってびっくりした。この年の暮に朝比奈先生に送ってハネビロトンボと確認した。

油井ノ池は、その後、稲作が放棄され広い湿地に各種の水草が群生し、初記録以来長年姿を見せなかったチョウトンボが再発見されるなど、トンボが群飛する楽園となっている。

(9) モイワサナエの記録と再録保留の経緯

隠岐のモイワサナエは、門脇(1977)が大満寺山で1959. v.5に採集して記録したものである。その後の報告に引用されているが、大浜ほか(1996)で再録を保留した。この標本は、昭和34年(1959)秋に、この年に採集した標本を国立科学博物館に送って同定をお願いした中に含まれていた。同定されたトンボ類は17種で、サナエトンボ科はダビドサナエ、ヒメクロサナエ、モイワサナエ、オジロサナエの4種であった。

この頃(1954年)、本土側の出雲市所原でモイワサナエが採集され、採集者の藤村俊彦氏から話を聞いていたので、図鑑では産地は局所的となっていたが、隠岐ではサナエトンボ科の3種や溪流種のムカシトンボ、カワトンボも採集されていたので記録に加えた。その後、宮崎俊行氏から分布資料の作成か何かで問い合わせがあり、これまでの経過などを回答するとともに、改めて国立科学博物館に標本や同定資料の有無を照会したが、いずれも見つからないとの回答があった。大浜ほか(1996)で、隠岐諸島のトンボ相をまとめた際、標本の所在が不明なうえ再発見もないので、再録を保留することにした。

(10) 流水性の水生昆虫と溪流と旱魃

平成6年(1994)に島後は大旱魃に見舞われ、島後の真中を流れる八尾川が干上がり、飲用水を取水する池田橋上流の堰が川底まで露出するほどで、生活に深刻な影響があった。しかし、この時でも支流の銚子川上流の谷合など、河床が岩盤の所では流水があり飲用に汲まれた。隠岐諸島では、平年でも晴天が続くと礫や玉石などが堆積する中・下流部は伏流して表流水が無くなる河川が多い。しかし、島後は大きくて山が深く溪流には常に流水がある。一方、規模が小さく山が浅い島前では溪流らしい流れは見られない。

このような河川環境の違いが、隠岐の河川に依存する水生昆虫の生息に大きく影響していると思われる。例えば、大浜ほか(1996)で、各島で記録されたトンボの種数は、島後54種、西ノ島36種、中ノ島31種、知夫里島33種(止水性種・飛来種を含む)であるが、カワトンボ科、ムカシトンボ科など流水性の種では、島後12種、西ノ島4種、中ノ島1種、知夫里島2種で差は歴然である。また、カワゲラ類は種名未確定を含め島後は34種、調査が遅れているが島前は僅か3種である。

一方、長花ほか(1954,1955)のカ科の調査では、島後9種、西ノ島6種、中ノ島12種、知夫里島7種が記録されており、溜り水を発生源とするカ類は島の規模などの影響は少ないと思われる。

隠岐島後の地形・地質・豊かな樹林がもたらした溪流は、日本の離島で唯一のムカシトンボやオオカワトンボの生息地であり、旱魃・濁水にあっても多くの水生昆虫やその他の水生動物の生息を可能にしている。

資料 2. 隠岐諸島のオオカワトンボ隠岐群覚え書き

門脇久志

隠岐島後のオオカワトンボ隠岐群は、隠岐諸島の昆虫相の特殊性を示す種の一つである。本種の初記録から今日までの主要なことがらを記述し、今後の研究の基礎資料としたい。

研究史概要

- 1931年 岡部 (1931) が「カワトンボ」、ハグロトンボ、アオハダトンボを記録したが、隠岐諸島の「カワトンボ」の最初の記録である。
- 1932年 木村 (1932) は、島前のトンボ類 8 種を記録したが、「カワトンボ」は含まれていない。
- 1939年 木村 (1939) は、「隠岐黒木村ニ分布セル動植物目録」で、島前西ノ島のトンボ類 17 種を記録したが、「カワトンボ」は含まれていない。
- 1958年 門脇 (1958) は、島後の大満寺山周辺で、「カワトンボ」を記録した。
- 1966年 門脇は、1966年に隠岐で採集したトンボ類の同定を朝比奈正二郎博士に依頼した。博士からは、同定結果の 21 種に“春に出るカワトンボ (橙色型、透明型共に) に特に注目している”との添え書きがあった (この時の標本にカワトンボは含まれていなかった)。
- 1967年 門脇は、この年 5 月の連休に大満寺山と都万で採集したカワトンボ 8♂7♀とムカシトンボなどを朝比奈博士のもとに持参した。その時に“大きな翅の透明型♂が珍しい”と指摘された。
- 1972年 日浦 (1972) は、カワトンボの地方別整理をした中で、「隠岐のβは、かなり大型で、不透明斑も発達し、東北種族的である」とした。(β = 不透明斑が現れる橙色型)
- 1976年 Asahina (1976) は、隠岐のカワトンボを「オオカワトンボ *Mnais prunosa nawai* Yamamoto」として扱い、「橙色翅型♂f. *nawai* + 透明翅型♂f. *kadowakii* + 透明翅型♂f. *taketo* の組み合わせ」とした。
- 1977年 門脇 (1977) は、「隠岐島のトンボ類」で 42 種 (文献記録を含む) を報告し、オオカワトンボを島後の大満寺山、西郷、都万、銚子から記録した。
- 1985年 門脇は、1976~1985年に隠岐島後の 15 地点を含む島根県内 42 地点で採集した標本を鈴木邦雄博士に送った。これ以降、鈴木博士と共同で隠岐諸島を含む山陰地方のカワトンボ属の地理的分布と地理的変異を調査し報告した (Suzuki and Kadowaki, 1986, 1987a, b, 1988)。④「隠岐諸島にはオオカワトンボが島後にのみ生息し、ニシカワトンボが生息する可能性は極めて小さい。このことは隠岐諸島成立の時期とカワトンボ属 2 種の分布拡大・侵入時期との関係について重要な示唆を与える。」(Suzuki & Kadowaki, 1987b)
- 1992年 衣笠・桂 (1992) は、島後の布施村中谷で採集したカワトンボ 3♂3♀のうち 1♀が小型で“隠岐島には本当にオオカワトンボしか生息しないのか? この小型種は再検討の要あり”と付記した。澁江賢一郎氏よれば、1985年尾花茂氏からの手紙にも「安東 (瑞夫) 氏に送られた標本にニシカワトンボが混っていた “とのコメントが寄せられていた”。
- 1996年 門脇 (1996) は、衣笠・桂 (1992) の疑問などを踏まえて、ニシカワトンボの生息の有無を確認するため、1990~1994年に島後の 16 地点で採集したカワトンボの橙色翅型♂133 個体、透明翅型♂65 個体、透明翅型♀35 個体について調べ、小型の個体が混じる地点がないことを確認し、種を判別し易い橙色翅型♂の翅色や前縁の不透明斑の大きさなどを比較し、すべてオオカワトンボと

同定した(図版参照, 門脇(1996)の一部を修正し, モノクロをカラーにした)。また, ニシカワトンボは山陰地方では河川上流の溪流に多いので, 多くの河川上流部を源流まで調べたが, 灌木が茂る小溪流までオオカワトンボのみが生息していることを確認した。大浜ほか(1996)は, 隠岐諸島のトンボ類を総括して54種を記録した。オオカワトンボを島後の25地点で確認し, 島前には産しないとした。また, 大浜(2002)は, オオカワトンボを島後の22地点の採集記録を追加した。

1998年 鈴木(1998)は, 日本産カワトンボ属の既知見を総括して, 地理的分布と地理的変異を踏まえた4種説に基づく分類試案を示した。各種ごとに, 種内で出現する型の組み合わせと分布域が異なる地方個体群と, 同じ地方個体群内で生息状況が異なる個体群について概説し, 中国地方東部の千代川・吉井川両水系を南北に走る3種4個体群の地理的分布境界線“カワトンボ線 Mnais Line”を提唱した。オオカワトンボには, 中部群, 中国群, 隠岐群, 四国群および九州群の5地方個体群と12個体群が存在し, 「隠岐群は, 常に橙色翅型雄+透明翅型雄+透明翅型雌の組み合わせで出現する。隠岐諸島にはニシカワトンボ南海群が生息せず, オオカワトンボのみが単独で生息する。中国群, 九州群に出現する淡透明翅型雌雄は全く発見されない」とした。

2003年 鈴木(2003)は, 前報(鈴木, 1998)を踏まえ, “カワトンボ線”と2大地質構造線(中央構造線・糸魚川-静岡構造線)に着目し, カワトンボ属の日本列島における地理的分布状況を整理した。また, 2大地質構造線や“カワトンボ線”とほぼ対応する地理的分布を示す生物群として, 例えばヨモギハムシの2体色型, セトウチフキバツタ, アカサビザトウムシなどの存在を指摘した。

2004年 Hayashi et al(2004)は, 核DNAと外部形態の解析から, 日本産カワトンボを「カワトンボ」*M. strigata* Selys, 1853と「オオカワトンボ」*M. costalis* Selys, 1869の2種に分けることを提案した。林ほか(2004)は, 日本産カワトンボ属の分類と分布, 系統, 成虫の形態, 交尾行動, 形質置換(翅色型と集団)などを解説した。

2007年 日本蜻蛉学会和名検討委員会(2007)は, 今後, 林ほか(2004)の分類に基づく場合は, *M. costalis* Selys, 1869はニホンカワトンボ, *M. pruinosa* Selys, 1853はアサヒナカワトンボを標準和名とした。

二橋 亮(2007)は, 新分類の2種と従来1種説, 2種説, 4種説を比較して, 新仮説は問題点を矛盾なく説明できる。今後の課題は2種と伊豆半島周辺の個体群との関係, 中国, 九州地方の両種の棲み分け, 生殖隔離の程度, 繁殖行動の種間差の野外での検証・解析とした。

2010年 苅部ほか(2010)は, 神奈川県内の詳細な分布調査から, 県内に「アサヒナカワトンボ」, 「ニホンカワトンボ」のほかに, 富士山周辺に生息する未命名の雑種起源集団と考えられる伊豆個体群の3つの分類群の分布を確認した。

課 題

林ほか(2004)は, 「オオカワトンとカワトンボの中国地方・四国・九州集団は2種の共存後期集団に相当するとみなされる」としているが, 隠岐諸島には後者は生息していない。オオカワトンボ隠岐群は, 日本列島の離島に単独で生息する唯一のオオカワトンボで, 隠岐が離島となったとされる約16,000年前(大島, 1990)以前に侵入し, 島の環境に適応しながら世代を繰り返し現在に至っていると考えられる。一方, 対岸の山陰本土には, オオカワトンボの中部群・中国群, ニシカワトンボ南海群, ヒウラカワトンボ(未記載)が分布し, 地理的分布境界線“カワトンボ線”が提唱されている(鈴木, 1998)。これら3種4群の現時点のより詳細な分布や生態, オオカワトンボ隠岐群との関連など, 解明すべき課題が多い。

新分類による「ニホンカワトンボ」の地方個体群等の扱いが明瞭でないので、ここでは鈴木 (1998) の4種説に従って「オオカワトンボ隠岐群」として記述した。

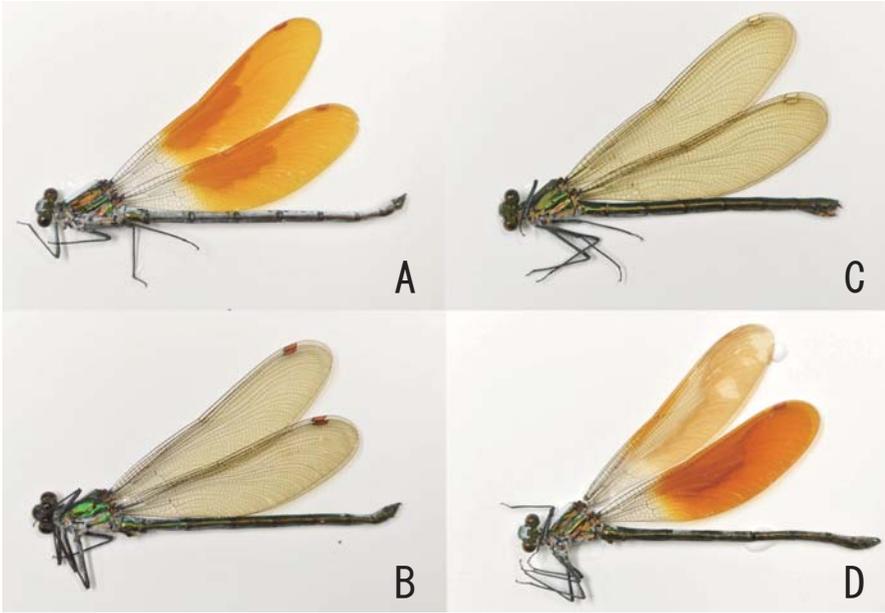
謝 辞

富山大学名誉教授鈴木邦雄博士には、筆者がカワトンボ調査に関わって以来今日まで格別のご指導を賜り、ホシザキ野生生物研究所林 成多博士、山陰むしの会大浜祥治、祖田 周両氏には文献収集や調査にご協力を頂いた。厚く御礼を申し上げます。

文 献

- 「隠岐諸島産水生昆虫目録 (1930-2015)」に既に挙げてある文献は省略した。
- 二橋 亮 (2007) カワトンボ属の最新の分類学的知見. 昆虫と自然, **42**(9): 4-7.
- 林 文男・土畑重人・二橋 亮 (2004) 日本産カワトンボ属の分類的, 生態的諸問題への新しいアプローチ (1) 総論. AESCHNA, (41): 1-14.
- 日浦 勇 (1972) カワトンボの諸問題. 熊本昆虫同好会報, **18**(2): 1-16
- 荻部治紀・守屋博文・林 文男 (2010) 神奈川県を中心としたカワトンボ属の分布. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (39): 25-34.
- 鈴木邦雄 (1998) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) の分類, 地理的分布および地理的変異 (概説). ホシザキグリーン財団研究報告, (2): 289-314.
- 鈴木邦雄 (2003) “カワトンボ線”の動物地理学的意義-日本産カワトンボ属 (トンボ目, カワトンボ科) の分類と地理的分布-. 特別展「世界どうぶつ物語」, 展示解説書: 39-46.

隠岐島後のオオカワトンボ隠岐群



標本写真

A, 橙色翅型♂ f. *nawai*; B, 透明翅型♂ f. *kadowakii*; C, 透明翅型♀ f. *taketo*; D, 橙色翅型♂で前翅の不透明斑が白色の個体. A-C, は長尾田産 (1992. 5. 25 採集); Dは 歌木産 (1991. 5. 25 採集) (1列できわめて少ない).



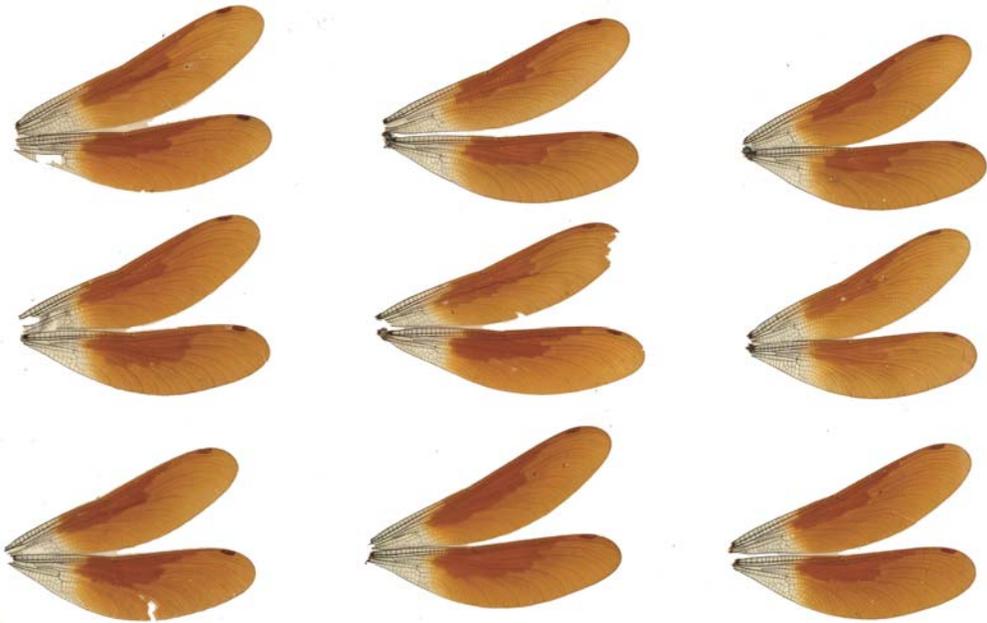
1. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町大満寺山, 1992. 5. 25, 門脇採集)



2. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町大満寺山, 1991. 5. 15, 門脇採集)



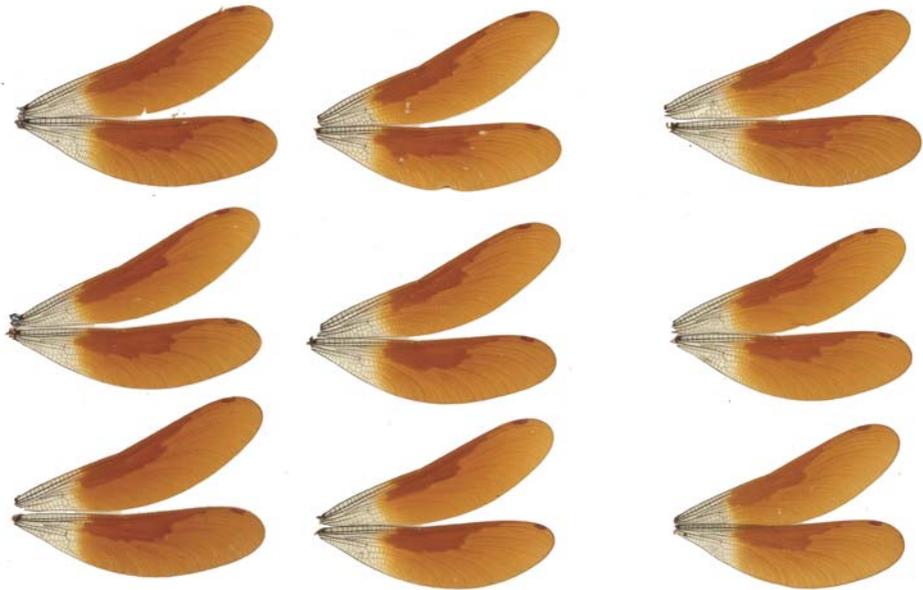
3. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町大満寺山, 1993. 5. 15, 門脇採集)



4. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町有木 (上), 1993. 5. 18, 門脇採集)



5. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町有木 (西谷), 1993. 5. 18, 門脇採集)



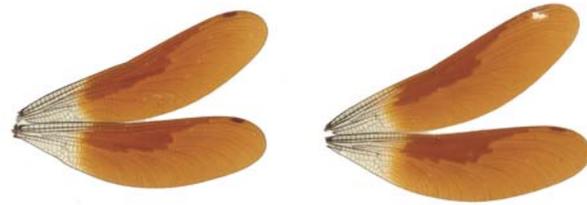
6. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町近石, 1992. 5. 25, 門脇採集)



7. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町加茂, 1994. 5. 23, 門脇採集)



8. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町西田, 1994. 5. 23, 門脇採集)



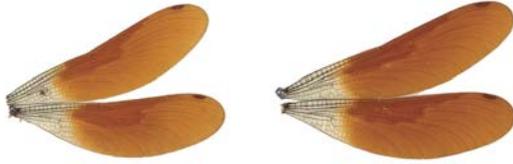
9. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町東郷, 1994. 5. 23, 門脇採集)



10. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧西郷町飯田, 1994. 5. 23, 門脇採集)



11. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧布施村南谷, 1994. 5. 22, 門脇採集)



12. 橙色翅型♂ *f. nawai* の不透明斑 (旧布施村中谷, 1990. 5. 27, 門脇採集)



13. 橙色翅型♂ *f. nawai* の不透明斑 (旧布施村飯美, 1994. 5. 22, 門脇採集)



14. 橙色翅型♂ *f. nawai* の不透明斑 (旧西郷町西村, 1994. 5. 22, 門脇採集)



15. 橙色翅型♂ *f. nawai* の不透明斑 (旧五箇村長尾田, 1992. 5. 25, 門脇採集)



16. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧都万村上那久, 1991. 6. 16, 門脇採集)



17. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧都万村上那久, 1992. 5. 25, 門脇採集)



18. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧都万村浜那久, 1992. 5. 25, 門脇採集)



19. 橙色翅型♂ f. *nawai* の不透明斑 (旧都万村歌木, 1992. 5. 25, 門脇採集)

(参考) 島根半島のニシカワトンボ南海群



20. 橙色翅型♂ f. *esakii* の不透明斑 (旧美保関町諸喰, 1993. 5. 23, 門脇採集)



21. 橙色翅型♂ f. *esakii* の不透明斑 (旧平田市後野, 1992. 5. 16, 門脇採集)

2016年3月18日発行

Issued : March 18, 2016

ホシザキグリーン財団研究報告特別号

Spec. Bull. Hoshizaki Green Found.

第 17 号

No.17

発行人 坂本 精志

Published by

発行所 公益財団法人 ホシザキグリーン財団

Hoshizaki Green Foundation

〒691-0076 出雲市園町 1664-2

Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan

TEL(0853)63-7878 FAX(0853)63-0987

TEL(0853)63-7878 FAX(0853)63-0987

印刷所 (株)報光社

Printed by Hôkôsha Co., Ltd.

Special Bulletin of the Hoshizaki Green Foundation

No. 17

(Issued : March 18, 2016)

**List of Aquatic Insects in Oki Islands,
Shimane Prefecture, Japan**

By Masakazu HAYASHI and Hisashi KADOWAKI

**Hoshizaki Institute for Wildlife Protection
Hoshizaki Green Foundation (Hoshizaki Green Zaidan)
Sono, Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan**